

## 父親の育児不安に関する基礎的研究Ⅰ

— 今後の父親育児不安尺度作成に向けての予備的分析 —

愛育相談所 川井 尚・安藤朗子・武島春乃・永井桃子・庄司順一  
研究企画・情報部 中村 敬  
愛育病院心理福祉室 小玉夕香・堤 道子・加来華誉子・塚越理恵  
愛育幼稚園 酒井幸子  
愛育ナーサリールーム 山川美恵子  
嘱託研究員 恒次欽也（愛知教育大学）・渡邊 寛・鈴木玲子（彩の子ネットワーク）  
大藪 泰（早稲田大学）・馬岡清人（埼玉工業大学）  
鈴木眞弓（東邦大学医学部附属大橋病院）・平岡雪雄（浦安市教育委員会）  
島 智久（浦安市教育委員会）・伊藤嘉余子（埼玉大学）  
山岡テイ（情報教育研究所）・木邨真美（大阪府衛生会附属診療所）  
古賀浩子（市立豊中病院）・栗原佳代子（日本歯科大学）

### 要 約

父親に育児不安が認められるかどうかを研究目的にその基礎的研究を行った。

研究方法は、これまでの「父親・男性研究」と「母親の育児不安研究」の知見を取り入れ質問紙調査項目を作成した。この質問紙の主な内容は、領域Ⅰ:育児に関する項目、領域Ⅱ:妻に関する項目、領域Ⅲ:家族に関する項目、領域Ⅳ:父親自身の心身状態に関する項目、領域Ⅴ:妻の心身状態に関する項目、領域Ⅵ:乳児期に関する項目、領域Ⅶ:④0歳児、⑤1歳児、⑥2歳児、⑦3～6歳児の心身状態に関する項目から成る。調査対象は、0歳児から6歳児をもつ父親1936名である。整理方法は、①信頼性係数による各領域項目の内的整合性の検討、②各領域間の相関分析、③因子分析を行った。

主な知見は、1. 単純集計から、父親は地域等の社会資源から孤立していること、子どもの発達についての理解や認識不足があることや子どもの性格や行動についての心配をもっていること、夫婦ともに心身状態がよくないことなどが指摘できた。2. 各領域間の相関関係からは、領域Ⅰ(育児)と領域Ⅳ(自分の心身状態)の高い相関が父親の育児不安が関与しているものと推測された。3. 因子分析からは、a. 第1因子「妻の不安・抑うつ状態」・第2因子「父親の不安・抑うつ状態」・第3因子「妻・母親・家庭機能の問題」・第4因子「Difficult Baby」・第5因子「育児困難感タイプⅠ」(育児不安心性Ⅰ)・第6因子「育児困難感タイプⅡ」(育児不安心性Ⅱ)・第7因子「自分自身の親子関係」の7つの因子が抽出された。b. 第5因子「育児困難感タイプⅠ」(育児不安心性Ⅰ)と第6因子「育児困難感タイプⅡ」(育児不安心性Ⅱ)は、その構成項目から育児不安心性を示すものと考えられた。第5因子「育児困難感タイプⅠ」は、その構成項目から育児への「自信のなさ・心配・困惑・父親としての不適格感」、第6因子「育児困難感タイプⅡ」は子どもへの「ネガティブな感情・攻撃・衝動性」と名づけられる育児不安心性が認められた。因子分析は1回目に抽出した項目群で再分析を行い、ほぼ同内容であり、内的整合性、因子間関係もともに認められた。ここで注目すべき知見は、この育児不安の基本構造は、母親の育児不安と同じであること、さらに、育児不安心性Ⅱにみられるように父親の育児不安そのものが虐待へのハイリスク要因であると考えられた。父親と母親の育児不安の基本構造が同一であることは、親という基盤にあると考えられるが、父親独自の育児不安心性を見出すことが今後の研究課題といえる。

以上、示された研究知見は、父親面接を中心にその支援・援助への有用な手掛かりになるものとする。

キーワード：父親の役割、父性、男性性、夫婦関係、父親の育児不安、育児困難感

### A Fundamental Study on Child-Rearing Anxiety of Father I

— Preliminary Analysis for Making the Scale of Child-Rearing Anxiety of Father in the future —

Hisashi KAWAI, Akiko ANDO, Haruno TAKESHIMA, Momoko NAGAI, Junichi SHOJI, Takashi NAKAMURA, Yuka KODAMA, Michiko TUTUMI, Kayoko KAKU, Rie TUKAGOSHI, Sschiko SAKAI, Mieko YAMAKAWA, Kinya TUNETUGU, Yutaka WAITANABE, Reiko SUZUKI, Yasushi OYABU, Kiyoto UMAOKA, Mayumi SUZUKI, Yukio HIRAOKA, Tomohisa SHIMA, Kayoko ITO, Tei YAMAOKA, Mami KIMURA, Hiroko KOOGA, Kayoko KURIHARA

**Abstract** : The purpose of this study was to investigate whether father has child-rearing anxiety or not. A questionnaire, consisted of 7 fields, related to child-rearing, wife, family, own mind-and-body state, wife's mind-and-body state, infancy of child and child's mind-and-body state, was developed based on our previous studies. The analysis included data of 1936 fathers who have 0 to 6-year-old child. The results were summarized as follows; 1) fathers are isolated from social resources, insufficient understanding of child development, and worry about child's character and behavior. In addition, the married couple's state of mind and body is not good. 2) from the result of high correlation between field I (child-rearing) and field IV (father's mind-and-body state), it suggested that fathers feel child-rearing anxiety. 3) 7 factors were extracted by the factor-analysis. Factor V (feelings of difficulty with child-rearing: type I) and factor VI (feelings of difficulty with child-rearing: type II) indicated the mentality of child-rearing anxiety of father. Type I showed the lack of confidence, anxiety, embarrassment, and disqualified father. Type II suggested negative, aggressive, and impulsive feelings toward child. Secondly, in the factor-analysis of items that were extracted by the first factor analysis, we found the consistency in factors and much the same correlation between these factors. The finding that should be paid attention here is that the basic structure of child-rearing anxiety of fathers was the same as that of mothers. Furthermore, it presented that child-rearing anxiety of father could be a high risk factor of child abuse as shown in the mentality of Type II. In next year, we will find out the unique mentality of child-rearing anxiety of father.

**Keyword** : Paternal role, Paternity, Masculine gender role, Marital relation, Child-rearing anxiety of father, Feelings of difficulty with child-rearing

## I. 研究目的

### はじめに

父親の育児参加の促進が勧められ、平成13年に改正された母子健康手帳にも、そのための配慮が盛り込まれている。父親が母親と共に育児を行いその役割を果たしていくことは、子どもにとって、そして父親・母親にも利益あることである。一方、チーム研究として6年にわたり行った「父親・男性研究」(川井尚ほか, 2002-2007)<sup>1)~6)</sup> 知見, そして心理臨床経験からも父親の育児不安と考えられる心性の存在が想定される。ちなみに、チーム研究「母親の育児不安」(川井尚ほか, 1995-2001)<sup>7)~13)</sup> の知見から、その心性と育児不安発生関連要因を明らかにし、育児不安評定尺度「子ども総研式・育児支援質問紙」を発表した。<sup>14)</sup> ここで特記すべき知見は、育児不安そのものが虐待のハイリスク要因であることである。父親の育児不安の心性に、子ども虐待やDVへのリスクも想定される。

今回は、これまでに行った「父親・男性研究」と、「母親の育児不安研究」(「子ども総研式・育児支援質問紙」)の成果を踏まえ、父親の育児不安項目とその発生関連要因項目を選定した。このことにより、父親の育児を支援するために父親の育児不安を母親のそれと比較分析検討することが本研究の目的である。

#### 具体的には

1. 父親に育児不安が認められるか、認められるとすればその心性はどのようなものであるか。
2. その心性に影響を与えるものは何か、即ち、発生関連要因を明らかにする。
3. 育児不安の心性は、子どもの年齢により異なるものであるのかどうか。
4. 今回、新たに収集する父親版(夫版)と母親版(妻版)との比較検討により、それぞれの育児不安心性の特徴を明らかにすると共に、家族を評価することが可能かどうかの検討をする。

そして、これらの分析を通して得られた知見が、保健指導上の、あるいは心理面接上の有効な資料となることが期待できると考える。いいかえると、これらの研究知見が父親・夫への支援・援助につながり、さらにはそのことが妻や、子ども、家族に対するそれともつながり、実際の臨床に役立つものとなることを最終の目的としている。

## II. 研究方法

### 1. 調査方法

これまでの「父親・男性研究」と「母親の育児不安研究」の知見を取り入れ、父親と母親の育児不安とその発生関連要因についての項目を作成した。その予備調査を行った。

項目について：上記にあげた先行研究を参考に、調査項目を選定した(付録参照)。一連の「父親・男性研究」から、父性や夫・男性性に問題があるときは子育てに影響があることや、また、父性や男性性、自分自身は自分の親との関係があり、それがまた、子育てに影響していることがわかっており、これらをふまえた項目群を選んだ。

なお、父親版と、母親版とを作成した。父親版と母親版の両方を作成した理由は目的でもふれたが、夫婦に実施することにより両親(夫婦)間の比較検討ができること、及びそれぞれの育児不安心性とその発生関連要因の分析が可能になると考えられる。

### 2. 調査用紙の作成

前述のように、「母親の育児不安研究」を通して、日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所編著 母親用育児不安評定尺度「子ども総研式・育児支援質問紙」(0~11ヶ月, 1歳児用, 2歳児用, 3~6歳児用)を作成し、頒布している。ここで用いられた項目を中心に、さらには、これまでの「父親・男性研究」で使用したSCT項目、そしてそれへの回答のありようを参考にして、質問項目を作成した。具体的な項目は付録を参照されたい。また、今回は父親版のみの分析であるため母親版に関しては今後の課題とする。

この質問紙は、領域Ⅰ：育児に関する22項目、領域Ⅱ：妻に関する18項目、領域Ⅲ：家族に関する15項目、領域Ⅳ：父親自身の心身状態に関する28項目、領域Ⅴ：妻の心身状態に関する25項目、領域Ⅵ：乳児期に関する8項目、領域Ⅶ：④0歳児の心身状態に関する12項目、⑥1歳児の心身状態に関する16項目、②2歳児の心身状態に関する21項目、④3から6歳児の心身状態に関する25項目、から成る。

なお、領域Ⅵは、質問紙内の注意書きにおいて「お子さんが赤ちゃんのとき(生まれてから半年ぐらいまで。ただし、お子さんが複数いる場合は、下の年齢のお子さんについて回答してください。)」とした。領域Ⅶは、同様に質問紙内に「お子さんについて(注：現在のお子さんの年齢に応じて回答してください。お子さんが二人いてA児が0歳児、B児が3歳児ならば、0歳児と3歳児の両方に答えてください。0歳児、1歳児、2歳児がいればそれぞれについて答えてください。ただし、3~6歳の年齢のお子さんが複数いる場合は、最年少のお子さんについて回答してください。)」としてそれぞれ回答を求めた。したがって、領域Ⅶは子どもの年齢によっては無回答項目が生じることになる。

### 3. 調査対象者とその属性

対象地域は東京都、埼玉県、大阪府、京都府などである。配布は乳幼児健診、保育園、幼稚園、子育てサークルなどを中心にその他、われわれ研究メンバーの関係施

設等から回収した。夫婦にはそれぞれ個別に回答するように求め、それぞれ別の封筒に緘封してそれをさらに一つの封筒に入れて、施設を通して、または希望により郵送により回収した。なお、分析は両親のデータがそろっているものを主たる資料とした。配布数は 3845 件、内両親のペアがそろっているもの 1936 件（回収率 50.4%）であった。有効回答数には含めていないがそれほど多くない単親家庭データがあり、有用な情報が得られることが期待できるので、別途、次年度以降に分析する予定である。

1) 子どもの年齢分布 (表 1)

7 歳児以上が最も多いがこれは 7 歳以上をまとめたため、単独では 5 歳児 17.1%、6 歳児 16.2%であった。

2) 子どもの性別 (表 2)

男子 50.1%、女子 49.9%でほぼ同数だった。

3) 対象者の属性 (表 3)

対象となった父親は平均年齢 37.4 歳 (±5.6 歳)、妻の年齢は平均 35.2 歳 (±4.6 歳)、子どもの人数は平均 2.0 人 (±0.8 人)、妊娠週数が 37 週よりも早く産まれた子どもがいた場合、平均 34.4 週 (±2.3 週)、出生体重が 2500 g 以下の子どもがいた場合、平均 2163.6 g (±368.3 g) であった。

表 1 子どもの年齢分布

	人数	%
0 歳児	197	5.2
1 歳児	300	7.9
2 歳児	291	7.7
3 歳児	372	9.8
4 歳児	446	11.7
5 歳児	650	17.1
6 歳児	616	16.2
小計	2872	75.5
7 歳以上	931	24.5
合計	3803	100.0

注：子ども数が対象の父親数よりも多いのは複数の子どもがいるため

表 2 子どもの性別

	人数	パーセント
男	1743	50.1
女	1735	49.9
合計	3478	100.0

表 3 対象者の属性 (記述統計分)

	人数	平均値	標準偏差
補足 1: あなたの年齢	1926	37.4	5.6
補足 2: 妻の年齢	1922	35.2	4.6
補足 3: 子どもの人数	1914	2.0	0.8
補足 7.3: 妊娠週数が 37 週より早い週数	101	34.4	2.3
補足 7.7: 出生体重 2500g 以下の場合の出生体重 (g)	178	2163.6	368.3

4) 昼間の養育者 (表 4)

母親が 86.1%、保育所が 12.5%だった。祖父母はわずか 1.0%だった。

表 4 昼間の養育者

	人数	有効パーセント
母親	1655	86.1
保育所 (幼稚園は母親)	241	12.5
祖父母	19	1.0
その他	7	0.4
合計	1922	100.0

5) 父親の仕事 (表 5)

常勤が 85.4%で自営の 11.8%と合わせると 97.2%だった。主夫は 0.2%でほとんどいなかった。

6) 同居家族 (表 6)

同居は妻が 96.9%であった。ほかに自分の母親が 11.5%いて、少なくとも約 1 割強が 3 世代同居といえる。

7) 産じょく期等の異常の有無 (表 7)

- ・妊娠中の異常 18.4%で 2 割弱の妊婦に何らかの異常が生じていることがわかった。
- ・妊娠週数が 37 週よりも早く産まれた子どもがいた場合は 7.6%であった。
- ・分娩中の異常は 7.7%だった。
- ・産じょく期の異常は 3.3%であった。
- ・出生体重が 2500 g 以下の子どもがいた場合は 11.0%だった。
- ・新生児期の異常は 5.9%だった。
- ・生後 1 か月以降の異常は 3.7%だった。

なお、妊娠週数、出生体重以外の異常の内容は有無のみを聞いているので詳細は不明である。

表 5 仕事

	人数	有効パーセント
フルタイム (常勤)	1629	85.4
自営	225	11.8
パート・アルバイト	9	0.5
主夫	3	0.2
休職中	13	0.7
その他	28	1.5
合計	1907	100.0

表 6 同居

同居者	人数	比率
妻	1878	96.9
自分が単身赴任	21	1.1
自分の父親	165	8.5
自分の母親	222	11.5
妻の父親	67	3.5
妻の母親	93	4.8
その他	76	3.9

表7 産じょく期等の異常

異常あり	人数	比率
妊娠中の異常	357	18.4
妊娠週数が37週より早い	148	7.6
分娩中の異常	149	7.7
産じょく期の異常	63	3.3
出生体重2500g以下	213	11.0
新生児期の異常	114	5.9
生後1か月以降の異常	71	3.7

なお、上記の集計の際、不明や未記入分は対象から削除してある。

#### 4. 整理方法

本報告に関わる分析方法について簡単に述べたい。

領域ⅠからⅦまでの各項目に関してポジティブである場合に得点が低くなる項目は、「はい」1、「ややはい」2、「ややいいえ」3、「いいえ」4と得点化した。逆に、回答がネガティブなほど得点が高くなる項目(逆転項目)はデータ変換し、「はい」4、「ややはい」3、「ややいいえ」2、「いいえ」1と得点化した。したがって、領域の合計点は項目の得点が高いほど、その領域のネガティブ度が高いことになる。今回の分析は今後の詳細な分析の予備的なものとなるため、次のような簡単な分析にとどめた。

1) 各領域ごとに信頼性係数(クロンバックの $\alpha$ 係数)を求めた。

2) 信頼性係数に大きな問題がなかった(結果の項で述べる)ので、領域合計点を求めて、領域間の相関関係を求めた。

3) さらに、因子分析を行い、どのような因子で構成されているか、とりわけ、育児不安の心性にかかわるような因子が抽出されるか否かの検討を行った。1回目の結果、抽出された因子とそれを構成する項目群に基づき2回目を実施した。

4) 2回目の結果に基づき、因子内の内的整合性をクロンバックのアルファ係数により、また、因子間の関係を相関係数により検討した。

#### 5. 倫理的配慮

本調査の実施に当たり、各地域の小児科、幼稚園、保育所、子育てグループの責任者、及び調査対象である父親、母親に対し本研究の目的、研究方法の他、無記名回答であること、回答拒否が自由であること、個人情報保護のための配慮がなされること、回答をもって本研究に同意したことになること、本研究の目的以外にデータを使用しないことなどを依頼文書及び質問調査票に明記した。

また、研究計画の段階で、日本子ども家庭総合研究所・研究倫理委員会に審査を求め承認を得た。

### Ⅲ. 結果及び考察

#### 1. 単純集計

ここでは領域別に各項目の頻度(%)からみられる特徴について述べていきたい。肯定的な回答である「はい」(逆転項目では「いいえ」)が80%超の項目、否定的な回答である「いいえ」「ややいいえ」(逆転項目では「はい」「ややはい」)の合計が20%超の項目に網掛けの表示をしてある。(表10以降参照)肯定的な回答が80%超はかなりその項目に対して父親の大多数が肯定しているものと考えた。一方では否定的な回答が20%超(少なくとも肯定的な回答の合計が80%を切る)では父親のその項目への態度が否定的な傾向をもつものが少数とはいえないと判断する目安としたものである。なお、否定的回答の合計の比率を載せ、さらに、その25%超の項目について網掛けの表示をしてある。この目安に沿って、各領域の項目群の回答から読み取れることがらを述べる。また、この節では逆転項目に関して項目番号の後ろにRを付けた。たとえば、I1育児:15R子どものことを許せない<いいえ>91.9%は、91.9%が「いいえ」という回答を意味する。

#### 1) 領域Ⅰ: 育児に関する22項目(表10-1)

肯定的回答が多かったのは、I1育児:15R子どものことを許せない<いいえ>91.9%、I1育児:10R子どもを虐待しているのではないかと思う<いいえ>83.9%、I1育児:20R育児のことで周囲からのプレッシャーを感じる<いいえ>80.7%、I1育児:16Rよその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす<いいえ>80.4%であった。なお、ポジティブな項目で肯定的回答が80%超えたものは一つもなかった。

父親として子どもを否定するものは少ない。この少ない父親にこそ虐待のリスクを有する可能性があることが推測される。

「否定的回答」25%超の項目はI1育児:21子育てのための地域子育て支援センターなどを積極的に利用している<いいえ、ややいいえ>85.3%、I1育児:19子育てのことで地域等に相談できる場がある<いいえ、ややいいえ>63.3%、I1育児:8R育児についていろいろ心配なことがある<はい、ややはい>54.1%、I1育児:18子育てに悩んだときに相談できるひとがいる<いいえ、ややいいえ>31.1%、I1育児:7子どもをうまく育てている<いいえ、ややいいえ>27.6%、I1育児:3子どものことは理解できている<いいえ、ややいいえ>27.5%、I1育児:4Rどのようにしつけたらよいかわからない<はい、ややはい>26.0%、I1育児:6R子育てに困難を感じる<はい、ややはい>24.5%であった。

この否定的な回答をみると社会的な資源が活用されていないこと、相談できる相手がないという点で子育てに関して孤立的な状況がうかがえる。また、育児への心

配もある。この3項目は半数以上の父親が指摘している点できわめて重要なことと考える。これが父親特有のことなのか、あるいは母親もそうなのか、比較検討が必要である。また、現在、行われている「子ども・子育て応援プラン」(次世代育成支援計画)の中の事業として「つどいの広場」があげられている。その趣旨は『密室育児』による孤立感、閉塞感をもたらし、子育てへの不安や精神的負担感を増大させており、その結果、我が子を虐待に至らしめるケースにもつながりかねないなど、子育てへの負担感の解消を図ることが喫緊の課題となっている。」ことが指摘されており(厚生労働省)、父親にもこのことが該当すると考える。

## 2) 領域Ⅱ：妻に関する18項目(表10-2)

肯定的回答が多かったのは、I2妻：14R子どもは母親になつていない<いいえ>93.1%，I2妻：9R妻は子どもに関心がない<いいえ>92.5%，I2妻：10R妻は仕事や興味だけに打ち込んでいる<いいえ>91.9%，I2妻：17R妻はほとんど家にいない<いいえ>86.0%であった。なお、ポジティブな項目で肯定的回答が80%超えたものは一つもなかった。

ここでは妻たちが子どもや家庭をないがしろにしているものが少ないと夫がみているということである。換言すれば、これが否定的に評価されている妻は、家族や夫婦の間に重大な問題が生じている可能性がある。

「否定的回答」25%超の項目は I2妻：13R妻と話し合う時間がない<はい、ややはい>51.0%，I2妻：18たいていのことでは妻と考え方が合う<いいえ、ややいいえ>25.5%の2項目だった。

半数の父親が妻と話し合う時間のなさをあげていること、そして4分の1程度とはいえ、妻との考えが合わないとしていることから、話し合う時間のなさが影響しているものと考えられる。

## 3) 領域Ⅲ：家族に関する15項目(表10-3)

肯定的回答が多かったのは、I3家族：10R妊娠中、家族の理解が得られなくて大変だった<いいえ>86.5%，I3家族：7R家族は子育ての大変さを理解してくれない<いいえ>84.8%，I3家族：5R家族の中で私だけがつらい思いをしている<いいえ>83.2%であり、この領域でもポジティブな項目で肯定的回答が80%超えたものはなかった。

「否定的回答」25%超の項目は I3家族：14子育てするにあたって自分の親をモデルにしたいと思う<いいえ、ややいいえ>45.5%，I3家族：4R家庭内に心配事がある<はい、ややはい>30.1%だった。

父親が子育てにあたって自分の親をあまりモデルとしたものが多くないことはわれわれの父親・男性研究からもはっきりしている。その是非は不明であるが検討すべき課題と考える。

## 4) 領域Ⅳ：父親自身の心身状態に関する28項目

(表10-4)

肯定的回答が多かったのは、I4自身：25男として妻や子どもを幸せにしたいと思っている<はい>87.0%の1項目だけだった。この領域が28項目もありながら1項目だけだったことは注目される。逆転項目で肯定的回答が80%超るものはなかった。

「否定的回答」25%超の項目は、I4自身：22R疲れている<はい、ややはい>59.5%，I4自身：27R男として足りない点が多い<はい、ややはい>53.1%，I4自身：28R男としてもうひとつしつかりしていないと思う<はい、ややはい>48.4%，I4自身：20将来の見通しは明るいくいいえ、ややいいえ>45.7%，I4自身：11楽天的でくよくよ考えなくいいえ、ややいいえ>45.0%，I4自身：9Rおこりっぽい<はい、ややはい>41.6%，I4自身：18生き生きしている<いいえ、ややいいえ>34.2%，I4自身：4Rとても心配性であれこれ気に病む<はい、ややはい>33.1%，I4自身：12R精神的にゆとりがない<はい、ややはい>31.2%，I4自身：1R気が滅入る<はい、ややはい>29.4%，I4自身：10Rイライラしている<はい、ややはい>26.3%，I4自身：8R何事にも敏感に感じすぎてしまう<はい、ややはい>25.0%と12項目にも及んだ。

上位に自身の心身状態が挙げられているばかりではなく、男性性においても否定的回答が比較的多くみられることが特徴的であり、われわれが昨年度まで行ってきた研究知見を示すものとして注目できる。

## 5) 領域Ⅴ：妻の心身状態に関する25項目(表10-5)

肯定的回答が多かったのは、I5妻：19R居場所がない<いいえ>84.6%の1項目だった。なお、ポジティブな項目で肯定的回答が80%超えたものは一つもなかった。

「否定的回答」25%超の項目は、I5妻：23R疲れている<はい、ややはい>60.7%，I5妻：9Rおこりっぽい<はい、ややはい>51.9%，I5妻：11楽天的でくよくよ考えなくいいえ、ややいいえ>49.3%，I5妻：10Rイライラしている<はい、ややはい>44.1%，I5妻：24妻が落ち込んだ時に話し相手になり、話をよく聴く<いいえ、ややいいえ>31.3%，I5妻：12R精神的にゆとりがない<はい、ややはい>30.9%，I5妻：4Rとても心配性であれこれ気に病んでいる<はい、ややはい>30.4%，I5妻：8R何事にも敏感に感じすぎてしまう<はい、ややはい>30.1%，I5妻：20将来の見通しは明るいくいいえ、ややいいえ>29.3%，I5妻：1R気が滅入っている<はい、ややはい>27.1%，I5妻：3R悲観的になりやすい<はい、ややはい>26.7%でこれも領域Ⅳと同様に項目が多かった。

夫婦ともに心身状態がよくない場合があること、そしてそれが半数を超える、あるいはそれに近い項目がいく

つか見られている。これらの心身状態の不調は、子ども総研式・育児支援質問紙に示したように、母親の心身や、父親の心身の不調は育児困難感と密接な関係がみとめられており、父親の育児不安につながるものと考えられ、注目したい。

#### 6) 領域VI：乳児期に関する8項目(表10-6)

80%超の肯定的回答が多かった項目は一つもなかった。

一方、8項目中、次にあげる5項目が25%超の「否定的回答」であった。

I6乳児：6おとなしく手がかからない(かからなかった) <いいえ、ややいいえ>46.6%，I6乳児：5R一晩に何回も起される(起こされた) <はい、ややはい>34.6%，I6乳児：4R抱っこや外に連れ出すなどねむるまで手がかかる <はい、ややはい>26.1%，I6乳児：1Rよく泣いてなだめにくい(なだめにくかった) <はい、ややはい>25.8%，I6乳児：2Rわけもわからず泣く(泣いた) <はい、ややはい>25.1%であった。いずれもDifficult Babyの特徴を示すものである。ただ、今回は乳児を持つ親以外にとっては回想によるものであるので、全体の特徴として考えてよいか、後述する領域間や、親子間の関連からも今後の課題となったといえる。

#### 7) 領域VII：各年齢児の心身状態(表10-7)

##### ㊸0歳児の心身状態に関する12項目

肯定的回答が多かったのは、I7(0歳)：9R慢性的な病気がある <いいえ>88.5%，I7(0歳)：10R発達の全般的な遅れがある <いいえ>88.0%，I7(0歳)：6Rおびえたり、ひどくこわがる <いいえ>84.6%，I7(0歳)：1いつも元気で明るく <はい>82.4%だった。0歳児としては予想通りの結果といえる。

「否定的回答」25%超の項目は、I7(0歳)：3R指しゃぶりがあがる <はい、ややはい>56.2%，I7(0歳)：5R夜泣きがある <はい、ややはい>34.0%，I7(0歳)：8R機嫌が変わりやすい <はい、ややはい>25.5%だった。この年齢では指しゃぶりははじめこれらの乳児の行動は当然のことなので否定的回答とはいえない。しかし、もしもこれらの行動を父親たちが気にかけていて、否定的な行動と見なしていたならば、子どもの発達に関する父親の知識不足を露呈した象徴的なことがらといえる。妊娠期からのパパマクラス(両親学級)などにより乳児の発達に関する理解を促進する必要性がある。

##### ㊹1歳児の心身状態に関する16項目

肯定的回答が多かったのは、I7(1歳)：12R発達の全般的な遅れがある <いいえ>92.8%，I7(1歳)：11R慢性的な病気がある <いいえ>91.4%，I7(1歳)：1いつも元気で明るく <はい>86.0%，I7(1歳)：6Rおびえたり、ひどくこわがる <いいえ>83.0%，I7(1歳)：8活発で生き生きしている <はい>81.3%だった。元気

で生き生きしている子どもの様子をとらえている。逆にそうでない子どもを持つ親への支援が必要であり、そのことで悩む父親がいて上述の社会資源等が活かされていないとすれば問題である。

「否定的回答」25%超の項目は、I7(1歳)：5R夜泣きがある <はい、ややはい>37.7%，I7(1歳)：9Rおこりっぽい <はい、ややはい>31.5%，I7(1歳)：10R機嫌が変わりやすい <はい、ややはい>29.5%，I7(1歳)：15R乱暴 <はい、ややはい>27.5%，I7(1歳)：7Rとても落ち着きがない <はい、ややはい>27.4%である。1歳児としてはあってもおかしくない行動があげられているが、問題はそのことでどれくらい父親が悩まされているか、にある。

##### ㊺2歳児の心身状態に関する21項目

肯定的回答が多かったのは、I7(2歳)：15R目をパチパチさせるくせがある <いいえ>91.3%，I7(2歳)：11R慢性的な病気がある <いいえ>90.7%，I7(2歳)：16Rどもるくせがある <いいえ>90.3%，I7(2歳)：1いつも元気で明るく <はい>89.6%，I7(2歳)：12R発達の全般的な遅れがある <いいえ>86.6%，I7(2歳)：21R外では話をしない <いいえ>81.6%，I7(2歳)：8活発で生き生きしている <はい>81.3%である。

「否定的回答」25%超の項目は、I7(2歳)：4R偏食・小食・過食などの食事の問題がある <はい、ややはい>44.1%，I7(2歳)：10R機嫌が変わりやすい <はい、ややはい>40.5%，I7(2歳)：9Rおこりっぽい <はい、ややはい>39.3%，I7(2歳)：7Rとても落ち着きがない <はい、ややはい>38.8%，I7(2歳)：2R心配になる行動やくせがある <はい、ややはい>34.7%，I7(2歳)：19R乱暴 <はい、ややはい>26.6%である。1歳児と比べて2歳児に関してはとりあげられる項目が増えており、子どもの成長や行動の広がり等に振り回されている可能性があると考えられる。

##### ㊻3から6歳児の心身状態に関する25項目

肯定的回答が多かったのは、I7(3歳以上)：16R目をパチパチさせるくせがある <いいえ>92.3%，I7(3歳以上)：17Rどもるくせがある <いいえ>89.5%，I7(3歳以上)：13R発達の全般的な遅れがある <いいえ>89.1%，I7(3歳以上)：23Rことばの発達が遅れている <いいえ>87.5%，I7(3歳以上)：5R夜泣きがある <いいえ>87.4%，I7(3歳以上)：R12慢性的な病気がある <いいえ>87.3%，I7(3歳以上)：25R外では話をしない <いいえ>85.6%，I7(3歳以上)：18R遊ぶ友達がいない <いいえ>83.8%，I7(3歳以上)：1いつも元気で明るく <はい>81.6%，I7(3歳以上)：24R発音がはっきりしない <いいえ>81.0%，I7(3歳以上)：R11保育園や幼稚園に行くのをいやがる <いいえ

>80.6%, I7(3歳以上): R 2 2おしっこ・うんちの始末ができないくらい >80.2%である。3歳児以上でもあるので年齢に幅があり、その実態は把握しづらいが、多くの行動が「いいえ」となっており、順調な発育状況がうかがえる。

「否定的回答」25%超の項目は、I7(3歳以上): 4 R 偏食・小食・過食などの食事の問題がある<はい、ややはい>39.8%, I7(3歳以上): 9 R おこりっぽい<はい、ややはい>35.9%, I7(3歳以上): 2 R 心配になる行動やくせがある<はい、ややはい>35.0%, I7(3歳以上): 1 0 R 機嫌が変わりやすい<はい、ややはい>31.6%, I7(3歳以上): 7 R とても落ち着きがない<はい、ややはい>29.7%, I7(3歳以上): 3 R 指しゃぶりや爪かみがある<はい、ややはい>25.0%だった。これらは2歳以降に持ち越されている課題も多く認められると思われる、その分父親の悩みは深くなっている可能性がある。

以上の結果と考察から、子どもとその発達に関する父親の理解や知識不足、そして父親自身だけでなく妻もまた心身状態は全般的によいとは必ずしもいえないこと、社会的資源が活かされていないこと、さらに子どもの性格や行動上についての心配をもっていること、が指摘できる。これらの結果は妻との比較によって相対的に評価が異なってくるものであり、今後、夫婦ペアの一致度、ならびに、夫と妻の相違などを検討していきたいと考える。

## 2. 信頼性係数

各領域内の項目の内的整合性を検討するために、信頼性係数を算出した。後述する因子分析によって得られたものとは異なり、領域そのものに整合性があるかの検討である。その意図は今後の検討次第である領域のみを独立して活かす場合の可能性を考えてのことである。

### 1) 領域 I

0.865 (0.876<標準化された項目に基づいたクロンバックの $\alpha$ 係数、以下同じ>) で、高い係数を示した。

### 2) 領域 II

0.860 (0.869) で、同様に高い係数を示した。

### 3) 領域 III

0.827 (0.837) で、これも高い係数を示した。

### 4) 領域 IV

0.935 (0.936) で、とても高い係数を示した。

### 5) 領域 V

0.932 (0.933) で、同様にとても高い係数を示した。

### 6) 領域 VI

0.879 (0.879) で、これも同じく高い係数を示した。

### 7) 領域 VII

#### a. 0歳児

0.672 (0.719) で、ほかの領域に比べてやや低い係数を示したが、大きな問題になる程とはいえない。

#### b. 1歳児

0.776 (0.772) で、これもやや低い係数を示した。ただし、上記と同様にある程度十分な係数といえる。

#### c. 2歳児

0.859 (0.860) で、高い係数を示した。

#### d. 3歳児以上

0.846 (0.856) で、高い係数を示した。

以上、述べたようにほとんどの領域で特に問題は認められなかった。

なお、信頼性係数算出にあたって、各領域の各項目を1つずつ外した場合の信頼性係数を求めたところ各項目の加除にかかわらずいずれも上記の結果とほとんど変わることがなかった。したがって、信頼性係数を低下させるような項目はなく、領域内の項目の削除の必要性はなかった。

## 3. 領域間の関連—相関行列による

次に、領域間の相関係数を求めて領域間の関係を検討した。(表 11 参照) なお、この際に、領域 VII (㉔から㉔) はこれに加えていない。それは、該当児がいない場合もあり、相関係数を求めた際に全体的なサンプル数が大きく減少することを避けるためである。

いずれの組み合わせも有意な相関が得られたが、領域合計点と各領域との相関は、領域 VI 赤ちゃんのころの様子を除きいずれも 0.7 以上で高かった。また、領域 VI の赤ちゃんのころの様子はほかの領域との相関も低く、いずれも 0.3 以下であった。これは、子どもの年齢層の幅が広い関係で一定の結果が出にくかったものと考えられる。

領域間では、①領域 I (育児) と領域 IV (自分の心身状態)、②領域 II (妻の様子) と領域 III (家族)、③領域 II (妻の様子) と領域 V (妻の心身状態)、これらがそれぞれ 0.6 以上の相関値で高かった。

①領域 I と IV は、父親の心身状態と育児との間の関連を示すもので、父親の育児不安が関与しているものと推測できる。

②領域 II と III、③領域 II と V の関係は、いずれも妻にかかわることであり、妻の心身状態が家族や妻の子育てに影響を与えていることを示唆するものであり興味深い。とりわけ、これは夫が妻や家族について評価している点で貴重かつ重要な知見であると考えられる。

④領域 III (家族) と領域 I (育児)、⑤領域 IV (自分の心身状態) と領域 V (妻の心身状態) が、それぞれ 0.5 以上の相関値を得た。これは家族の状態が育児や、父親、そして妻の心身状態に影響を与えていることを示すものであり重要な知見である。

## 4. 因子分析

### 1) 第 1 回目の因子分析

領域Ⅰから領域Ⅵまでの因子分析を行った。方法は最尤法でバリマックス回転させた。その結果が表12である。スクリープロットや説明された分散(表13参照)などから第7因子まで抽出した。

(1) 第1因子「妻の不安・抑うつ状態」

第1因子を構成する項目のリストは次のようである。なお、以降( )内に2回目削除または2回目追加、とある項目は2回目の因子分析でその因子に追加または削除したことを意味する。詳細は次節で述べる。

- 15 妻：3 悲観的になりやすい
- 15 妻：5 精神的に不調である
- 15 妻：2 不安や恐怖感におそわれている
- 15 妻：1 3 沈みがち
- 15 妻：6 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがあるようだ
- 15 妻：4 ととても心配性であれこれ気に病んでいる
- 15 妻：1 気が滅入っている
- 15 妻：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう
- 15 妻：1 5 淋しそう
- 15 妻：1 2 精神的にゆとりがない
- 15 妻：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない
- 15 妻：2 2 体調の不良を訴えたり、病気がちである
- 15 妻：1 4 眠れないようだ
- 15 妻：2 3 疲れている
- 12 妻：1 6 妻は幸せな気分で過ごしている
- 12 妻：1 1 妻は子どもをどのように扱ったらよいかわからない
- 15 妻：1 1 楽天的でくよくよ考えない
- 15 妻：2 1 出産後、気持ちが沈み、おっくうで何もする気がなかった
- 15 妻：1 9 居場所がない
- 13 家族：4 家庭内に心配事がある
- 15 妻：1 8 生き生きしている
- 15 妻：1 0 イライラしている
- 15 妻：9 おこりっぽい
- 15 妻：1 7 仕事に行きたくない、仕事や家事をやる気を失っている
- 15 妻：1 6 仕事や家事がうまくいっていない

これらはいずれも「悲観的になりやすい」「精神的に不調である」「不安や恐怖感におそわれている」「沈みがち」など、妻の不安や抑うつ状態などの心身状態を示す項目群で占められており、「妻の不安・抑うつ状態」と名付けた。

(2) 第2因子「父親の不安・抑うつ状態」

第2因子を構成する項目のリストは次のようである。

- 14 自身：1 3 沈みがち
- 14 自身：5 精神的に不調である
- 14 自身：3 悲観的になりやすい
- 14 自身：2 不安や恐怖感におそわれる

- 14 自身：1 気が滅入る
- 14 自身：6 何ともいえずさびしい気持ちにおそわれることがある
- 14 自身：4 ととても心配性であれこれ気に病む
- 14 自身：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない
- 14 自身：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう
- 14 自身：1 2 精神的にゆとりがない
- 14 自身：1 5 淋しい
- 14 自身：1 6 仕事や家事がうまくいっていない
- 14 自身：1 4 眠れない
- 14 自身：1 9 居場所がない
- 14 自身：2 1 体調が不良であったり、病気がちである
- 14 自身：1 1 楽天的でくよくよ考えない
- 14 自身：1 8 生き生きしている
- 14 自身：2 2 疲れている
- 14 自身：2 0 将来の見通しは明るい
- 14 自身：1 7 仕事に行きたくない、やる気を失っている
- 14 自身：9 おこりっぽい(2回目削除)
- 14 自身：1 0 イライラしている
- 13 家族：4 家庭内に心配事がある(2回目追加)

この第2因子は第1因子と歩調を合わせるようにして、「沈みがち」「精神的に不調である」「悲観的になりやすい」「不安や恐怖感におそわれる」など、父親自身の心身状態にかかわる項目群であり、「父親の不安・抑うつ状態」と名付けることにする。

(3) 第3因子「妻・母親・家庭機能の問題」

第3因子を構成する項目のリストは次のようである。

- 12 妻：2 妻は精神的に私を支えてくれる
- 12 妻：1 妻は私や子どものためによくしてくれる
- 12 妻：1 2 この人と結婚して幸せである
- 12 妻：8 妻と気持ちが通じ合っている
- 12 妻：5 家庭内に関する事柄について妻には期待できない
- 13 家族：9 家庭の中がしっくりいかない
- 12 妻：4 妻は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない
- 13 家族：8 家族は私の趣味や仕事を理解し協力してくれる
- 12 妻：6 妻は育児のことで相談ののってくれる
- 11 育児：2 2 子育てのことで妻と意見が合わない
- 13 家族：1 家族としてのまとまりを感じる
- 12 妻：1 8 たいいていのことでは妻と考え方が合う
- 12 妻：3 母親としての自覚が足りない
- 13 家族：3 家庭には私の居場所がない
- 13 家族：5 家族の中で私だけがつらい思いをしている
- 13 家族：2 何かと家庭内にもめごとが起こる
- 12 妻：7 妻は子どもとよく遊び、面倒見がよい
- 15 妻：1 7 仕事に行きたくない、仕事や家事をやる気を失っている(2回目削除)
- 15 妻：1 6 仕事や家事がうまくいっていない(2回目削除)
- 12 妻：1 6 妻は幸せな気分で過ごしている(2回目追加)

I4 自身：19 居場所がない（2 回目追加）

この一連の項目群は「妻は精神的に私を支えてくれる」「妻は私や子どものためによくしてくれる」「この人と結婚して幸せである」「妻と気持ちが通じ合っている」「家庭内に関する事柄について妻には期待できない」「家庭の中がしっくりいかない」など、家族を含めて、とりわけ重要なメンバーである妻が登場しており、また、妻と子どもとのかわりに関する項目も含まれている。そこで、第3因子を「妻・母親・家庭機能の問題」と名付けるのがふさわしいと考えた。

（4）第4因子「Difficult Baby」

第4因子を構成する項目のリストは次のようである。

I6 乳児：8 夜泣きがひどい（ひどかった）

I6 乳児：5 一晩に何回も起される（起こされた）

I6 乳児：4 抱っこや外に連れ出すなどねむるまで手がかかる

I6 乳児：1 よく泣いてなだめにくい（なだめにくかった）

I6 乳児：2 わけもわからず泣く（泣いた）

I6 乳児：3 あまり眠らない（眠らなかつた）

I6 乳児：6 おとなしく手がかからない（かからなかつた）

I6 乳児：7 一日の生活リズムが一定しない（一定しなかつた）

これらの項目群は乳児期の状態を訊ねた全項目から成り立っており、あきらかに乳児期の状態を示すものであり第4因子を「Difficult Baby」と名付ける。

（5）第5因子「育児困難感タイプⅠ」（育児不安心性1）

第5因子を構成する項目のリストは次のようである。

I1 育児：2 子どものことでどうしたらよいかわからない

I1 育児：1 育児に自信が持てない

I1 育児：4 どのようにしついたらよいかわからない

I1 育児：6 子育てに困難を感じる

I1 育児：5 父親として不適格とを感じる

I1 育児：8 育児についていろいろ心配なことがある

I1 育児：7 子どもをうまく育てている

第5因子にいたって、「子どものことでどうしたらよいかわからない」「育児に自信が持てない」「どのようにしついたらよいかわからない」「子育てに困難を感じる」など、育児不安心性を現すと思われるものが登場した。これは、母親の育児不安研究でわれわれが指摘した育児不安の心性は育児困難感であり、「育児困難感タイプⅠ」であるとしたものと同様の心性と考えてよいと思われる。

（6）第6因子「育児困難感タイプⅡ」（育児不安心性2）

第6因子を構成する項目のリストは次のようである。

I1 育児：14 とめどなく叱ってしまう

I1 育児：13 子どもは何で叱られているか分からないのに叱ってしまう

I1 育児：12 子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む

I1 育児：15 子どものことを許せない

I1 育児：10 子どもを虐待しているのではないかと思う

I1 育児：9 子どものことがわずらわしくてイライラする

I4 自身：9 おこりっぽい

第6因子は第5因子と同じように育児不安心性を現すと思われるもので、「とめどなく叱ってしまう」「子どもは何で叱られているか分からないのに叱ってしまう」「子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む」「子どものことを許せない」などである。これは、母親の育児不安研究でわれわれが指摘した「育児困難感タイプⅡ」と同様の心性と思われる。

（7）第7因子「自分自身の親子関係」

第7因子を構成する項目のリストは次のようである。

I3 家族：13 自分の親には大事に、大切に育てられたと思う

I3 家族：15 子どもの頃、幸せに過ごしてきた

I3 家族：12 自分の母親との関係は良好である（だった）

I3 家族：11 自分の父親との関係は良好である（だった）

I3 家族：14 子そだてするにあたって自分の親をモデルにしたいと思う

この第7因子は、「自分の親には大事に、大切に育てられたと思う」「子どもの頃、幸せに過ごしてきた」など、われわれが父親研究の際に報告したように、自分の親との関係が子育て等に影響するとの知見を得たが、これが一つの因子としてまとまったもので「自分自身の親子関係」と仮に名付けた。

ところで、川井尚ほか（1999）<sup>11)</sup>は母親の育児不安の検討の中で1歳児以降では育児困難感タイプⅠとⅡにわかれることを指摘している。そして1歳児に関して言えば「育児困難感Ⅰ」は「育児に自信が持てない」「子どものことでどうしたらよいかわからない」「どのようにしついたらよいかわからない」「母親として不適格とを感じる」などであり、それは0歳児ともすべて共通している。>こと、さらに、<「育児困難感Ⅱ」は「子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む」「子どもを虐待しているのではないかと思う」「何で叱られているかわからないのに叱ってしまう」と合わせて、母親自身の「イライラしている」「怒りっぽい」が構成要素に入ってきており、母親のイライラ焦燥感や怒りが抑制できず、子どもへ向けられてしまうことが考えられる。>と述べている。

上述の知見をもとに考えると、7つの因子が抽出されたが、本論の目的である父親の育児不安の心性は、母親のそれと基本構造が同じであることが認められ、有用な知見と考えられる。即ち、第1心性：育児への「自信のなさ・心配・困惑・父親としての不適格感」と第2心性：

子どもへの「ネガティブな感情・攻撃・衝動性」の基本構造を示した。また、第2心性にみるように、父親の育児不安も虐待へのハイリスク要因であることが想定される。なお、今後、母親版の検討結果との比較を行い、父親あるいは母親特有のものがあるのかどうか、検討していきたい。

2) 2回目の因子分析

1回目と2回目ともに手法は同じであり、1回目の因子分析で因子を構成する項目93項目のみで分析した。その結果が表14である。表15に第2回目の因子分析の分散の割合を示した。

この結果、1回目の因子分析によって得られた因子や項目は2回目もほとんど共通であり、ごく一部のみが他の因子に現れたり、他の因子に共通していたものが単独になったりという6項目だけに異同がみとめられたに過ぎない(表8)。したがって、因子を構成する項目はほとんど同じと見てよい。これをうけて因子の命名等は上記の1回目と同じものを採用することにした。なお、今後、この2回目の分析結果に基づいて尺度構成などを今後の課題としていきたいと考える。

表8 1回目と2回目の項目の異同

	1回目	2回目
16. 妻は幸せな気分でも過ごしている	1	1.3
4. 家庭内に心配事がある	1	1.2
9. おこりっぽい	2.6	2
19. 居場所がない	2	2.3
16. 仕事や家事がうまくいっていない	1.3	1
17. 仕事に行きたくない、仕事や家事をやる気を失っている	1.3	1

注：1回目欄はその項目が構成要素となっている因子番号、

2回目欄はその項目の因子の異同を示す。

5. 因子を構成する項目の内的整合性

因子ごとに内的整合性についてクロンバックのアルファ係数を求めた。その結果を表9に示す。先述した領域ごとの整合性とは異なり、因子ごとの整合性であり、今後尺度を作成するにあたって必要な事柄であると考えられる。

それによると、因子1から3までは0.9以上で高い信頼性があり、最も低い第6因子でも0.7以上であり、内的整合性に問題ないものと考えられる。

なお、信頼性係数算出にあたって、各因子の各項目を1つずつ外した場合の信頼性係数を求めたところ各項目の加除にかかわらずいずれも上記の結果とほとんど変わることがなかった。したがって、信頼性係数を低下させるような項目はなく、各因子内の項目の削除の必要はなかった。

表9 各因子のα係数

	Cronbach のα係数	標準化α係数
第1因子	0.9385	0.9402
第2因子	0.9339	0.9362
第3因子	0.9141	0.9172
第4因子	0.8789	0.8792
第5因子	0.8537	0.8575
第6因子	0.7658	0.7936
第7因子	0.8172	0.8298

6. 因子間の関連

上に述べた内的整合性がほぼ満足のいくものであったことから、因子間の関連について調べた。上記で述べた7因子それぞれの合計点と、7因子の総点に関してピアソンの相関係数を算出し、それを表16に示した。

それによると、7因子の合計点とは、第4因子「Difficult Baby」、第7因子「自分自身の親子関係」とが中程度の相関関係であったが、他はすべて0.6以上であり高い相関関係があることがわかった。

第1因子「妻の不安・抑うつ状態」は第4因子「Difficult Baby」、第7因子「自分自身の親子関係」との間には有意であるが0.2台の相関値にとどまった。他は第2因子「父親の不安・抑うつ状態」、第5因子「育児困難感タイプI」、第6因子「育児困難感タイプII」との間に中程度の相関関係が認められた。当然であるが第3因子「妻・母親・家庭機能の問題」との間には高い相関がみられた。

第2因子「父親の不安・抑うつ状態」は第4因子「Difficult Baby」、第7因子「自分自身の親子関係」を除いて中程度以上の相関が得られた。

第3因子「妻・母親・家庭機能の問題」は二つタイプの育児困難感(第5因子、第6因子)と中程度の相関が得られている。

第4因子「Difficult Baby」と第7因子「自分自身の親子関係」は、ともに他の因子との関係はあまり高くない。

第5と第6の二つタイプの育児困難感は第4因子「Difficult Baby」、第7因子「自分自身の親子関係」を除いては中程度以上の相関値があること、また、相互にも相関関係があることが認められた。どちらかの育児困難感が強い、あるいは弱いという相対的なものであって、両方の困難を抱えていることがあると考えられる。

IV. 結語

本研究で得られた結果を検討し、主な研究知見を示すと、次のようである。

1. 単純集計

各領域の単純集計の結果をまとめた。全体を通して簡潔に要約すれば、父親は地域等の社会資源から孤立していること、子どもの発達の認識不足や子どもの性格や行

動上に心配をもっていること、夫婦ともに心身状態がよくないことなどが指摘できた。

## 2. 各領域間の項目の内的整合性

信頼性係数を算出し、その結果、各領域間の項目に整合性が認められ、従って、領域内の項目の削除の必要性はないと考える。

## 3. 各領域間の相関関係

領域内の相関係数を求め、領域間の関係を検討した。その結果は次の通りであった。

- a. 領域 I (育児) と領域 IV (自分の心身状態)
- b. 領域 II (妻の様子) と領域 III (家族)
- c. 領域 II (妻の様子) と領域 V (妻の心身状態)

これらは、それぞれ 0.6 以上の相関値で高かった。前者の領域 I と IV は父親の心身状態と育児との間の関連を示すもので、父親の育児不安が関与しているものと推測できる。

領域 II と III, V の関係はいずれも妻にかかわることであり、妻の心身状態が家族や妻の子育てに影響を与えていることを示唆するもので興味深い。とりわけ、これは夫が妻や家族について評価している点で貴重な知見であると考えられる。

- d. 領域 III (家族) と領域 I (育児)
- e. 領域 IV (自分の心身状態) と領域 V (妻の心身状態)

これらは、それぞれ 0.5 以上の相関値を得た。これは家族の状態が育児や、自分、そして妻の心身状態に影響を与えていることを示すものであり重要な知見である。

## 4. 因子分析

1) 1 回目の因子分析の結果から、以下の 7 つの因子が抽出された。

- ・第 1 因子「妻の不安・抑うつ状態」
- ・第 2 因子「父親の不安・抑うつ状態」
- ・第 3 因子「妻・母親・家庭機能の問題」
- ・第 4 因子「Difficult Baby」
- ・第 5 因子「育児困難感タイプ I」(育児不安心性 1)
- ・第 6 因子「育児困難感タイプ II」(育児不安心性 2)
- ・第 7 因子「自分自身の親子関係」

2) 2 つの育児不安心性を示すものと考えられるものが認められ、それは、第 5 因子、第 6 因子である。

第 5 因子「育児困難感タイプ I」は、その構成項目から育児への「自信のなさ・心配・困惑・父親としての不適格感」、第 6 因子「育児困難感タイプ II」は子どもへの「ネガティブな感情・攻撃・衝動性」と名づけられる育児不安心性が認められた。

なお、以上の結果は第 1 回目の因子分析で抽出された因子を構成する項目による 2 回目の因子分析でもほぼ同様の結果が得られた。

ここで注目すべき知見は、この育児不安の基本構造は、

母親の育児不安と同じであること、さらに、育児不安心性 2 にみられるように父親の育児不安そのものが虐待へのハイリスク要因であると考えられた。なお、この知見は母親の育児不安にも認められるものである。

## 3) 因子の内的整合性と因子間の関係

各因子ともいずれも内的整合性に格別の問題はなかった。因子間の関係は、第 4 因子「Difficult Baby」と第 7 因子「自分自身の親子関係」がほかの因子との関係がやや低いもののそれ以外はいずれも中程度以上の関連性があるものと考えられた。

以上、示された研究知見は、父親面接を中心にその支援・援助の有用な手掛かりになるものと考えられる。

## V. 今後の課題

本研究の目的ははじめに述べたように次の事柄であった。

1. 父親に育児不安が認められるか、認められるとすればその心性はどのようなものであるか。
2. その心性に影響を与えるものは何か、即ち、発生関連要因を明らかにする。
3. 育児不安の心性は、子どもの年齢により異なるものであるのかどうか。
4. 父親版(夫版)と母親版(妻版)との比較検討により、それぞれの育児不安心性の特徴を明らかにすると共に、家族を評価することが可能かどうかの検討をする。

今回の分析により上記 1 は、父親の育児不安心性が認められ、その特徴は母親と同様のものではなかったことがわかった。父親と母親の育児不安の基本構造が同一であることは、親という基盤にあると考えられるが、父親独自の育児不安心性を見出すことが今後の研究課題といえる。今後、下記に述べる再分析でも実証を図りたい。

上記 2 は、再分析の検討の上で立つて行う今後の課題としたい。

3 は、年齢汎用でも検査として成り立つものであればそのようなするのが望ましいが、研究としては今後の課題としたい。

4 は、上記分析を通してまとめていきたいが今回家族がひとつの大きな因子としてまとまったことからこのような方向性で検討することに意義があると思われた。

今後は、上記の視点を持ってさらに、次のような検討を行っていく予定である。

- 1) 父親版に関して、分析の精査を行う。今回の因子分析で抽出された項目群を用いての再分析を行う。
- 2) 因子間の関係等から育児不安に影響を与える要因、即ち育児不安発生関連要因の分析を進める。
- 3) 本調査の必要性の有無を今回の分析全般を通して検討する。

4) 母親版に関しても同様の検討を行い、父親版との異同を分析検討する。

**謝辞** 本研究をすすめるに当たりご協力いただいた各地域の小児科、保育園、幼稚園の先生方、子育てサークルのリーダーの方々、そして、お父さん、お母さんたちに深く謝意を表したい。

**注記**：日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所編著 母親用育児不安評定尺度「子ども総研式・育児支援質問紙」(0～11ヶ月、1歳児用、2歳児用、3～6歳児用)、2001©は、日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所に著作権があります。許可なく市販等に利用したりすることはできません。また、研究や心理相談、乳幼児健診等で利用される際にはあらかじめ本研究所・愛育相談所宛、ご連絡ください。

**文献**：

- 1) 川井尚ほか：父親・男性研究Ⅰ－父親用文章完成法(F・SCT)の作成－,日本子ども家庭総合研究所紀要,第38集,203-215,2002.
- 2) 川井尚ほか：父親・男性研究Ⅱ－両親の回答比較から－,日本子ども家庭総合研究所紀要,第39集,237-251,2003.
- 3) 川井尚ほか：父親・男性研究Ⅲ－F・SCT(父親用文章完成法)による検討－,日本子ども家庭総合研究所紀要,第40集,165-187,2004.
- 4) 川井尚ほか：父親・男性研究Ⅳ－M・SCT(母親用文章完成法)による検討 F・SCT(父親用)との比較を含めて－,日本子ども家庭総合研究所紀要,第41集,175-201,2005.
- 5) 川井尚ほか：父親・男性研究Ⅴ－父親の役割に関する基礎的研究－母親の役割とも比較して－,日本子ども家庭総合研究所紀要,第42集,177-194,2006.
- 6) 川井尚ほか：父親・男性研究Ⅵ－父親・夫・男性の基本的役割と今後の父親育児不安研究に向けて,日本子ども家庭総合研究所紀要,第43集,203-242,2007.
- 7) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究－幼児の母親を対象に－.日本総合愛育研究所紀要,31集,27-42p,1995.
- 8) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究Ⅱ－育児不安の本態としての育児困難感について－.日本総合愛育研究所紀要,32集,29-47p,1996.
- 9) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村敬・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究Ⅲ－育児困難感のアセスメント作成の試み－.日本総合愛育研究所紀要,33集,35-56p,1997.
- 10) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村敬・谷口和加子・恒次欽也・安藤朗子：育児不安に関する臨床的研究Ⅳ－育児困難感のプロフィール評定試案－.日本子ども家庭総合研究所紀要(旧誌名日本愛育総合研究所紀要),34集,93-111p,1998.
- 11) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村敬・谷口和加子・恒次欽也・安藤朗子：育児不安に関する臨床的研究Ⅴ－育児困難感のプロフィール評定質問紙の作成－.日本子ども家庭総合研究所紀要,35集,109-143p,1999.
- 12) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村敬・谷口和加子・恒次欽也・安藤朗子：育児不安に関する臨床的研究Ⅵ－育児困難感のプロフィール評定試案－.日本子ども家庭総合研究所紀要,36集,109-143p,2000.
- 13) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・安藤朗子・中村敬・谷口和加子・佐藤紀子・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究Ⅶ－子ども総研・育児支援質問紙(ミレニアム版)の手引きの作成－.日本子ども家庭総合研究所紀要,37集,159-180p,2001.
- 14) 日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所編著 母親用育児不安評定尺度「子ども総研式・育児支援質問紙」(0～11ヶ月,1歳児用,2歳児用,3～6歳児用),「子ども総研式・育児支援質問紙の利用手引き」,2002.
- 15) 川井尚ほか 育児における父親の役割Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 厚生省心身障害研究「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」(平山宗宏主任研究者)平成元年,2年,3年度報告書,1990-1992.
- 16) 川井尚ほか 育児における父親の役割と保健指導に関する研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 厚生省心身障害研究「少子化時代に対応した母子保健事業に関する研究」(日暮眞主任研究者)平成4年,5年,6年度報告書,1993-1995.
- 17) 川井尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也：育児不安に関する基礎的検討.日本総合愛育研究所紀要,30集,27-39p,1994.
- 18) 川井尚：育児における父親の役割,小児保健研究,1992;51(6):671-680
- 19) 川井尚：父親面接.心と体の健診ガイドー幼児編ー.日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会編.日本小児医事出版社.57-60.2000.
- 20) 恒次欽也・庄司順一・川井尚：いわゆる育児不安に関する調査研究(1)－「育児困難感」の規定要因に関する研究－.愛知教育大学研究報告,第48輯(教育科学),123-129,1999.
- 21) 恒次欽也・庄司順一・川井尚：いわゆる育児不安に関する調査研究(2)－新資料による「育児困難感」の規定要因に関する研究－.愛知教育大学研究報告,第49輯(教育科学),123-129,2000.
- 22) 二木武監訳 ボウルビィ 母と子のアタッチメント 心の安全基地,医歯薬出版株式会社,1993.
- 23) 厚生労働省 子ども・子育て応援プラン,2005

表 10-1 領域 I 育児に関する 22 項目

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I1 育児：1 育児に自信が持てない	1002	51.8	547	28.3	330	17.1	54	2.8	19.9
I1 育児：2 子どものことでどうしたらよいかわからない	977	50.5	586	30.3	326	16.9	45	2.3	19.2
I1 育児：4 どのようにしつければよいかわからない	812	42.1	616	31.9	433	22.4	68	3.5	26.0
I1 育児：5 父親として不適格と感じる	1010	52.3	523	27.1	341	17.7	58	3.0	20.7
I1 育児：6 子育てに困難を感じる	996	51.5	463	24.0	389	20.1	85	4.4	24.5
I1 育児：8 育児についていろいろ心配なことがある	479	24.8	406	21.0	713	37.0	331	17.2	54.1
I1 育児：9 子どものことがわずらわしくてイライラする	1122	58.0	468	24.2	295	15.3	48	2.5	17.7
I1 育児：10 子どもの虐待しているのではないかと思う	1621	83.9	212	11.0	88	4.6	12	0.6	5.2
I1 育児：11 子どもがかawaiiと思えないことがある	1582	81.7	205	10.6	122	6.3	27	1.4	7.7
I1 育児：12 子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む	1236	63.9	314	16.2	310	16.0	73	3.8	19.8
I1 育児：13 子どもは何で叱られているかわからないのに叱ってしまう	1052	54.5	466	24.1	334	17.3	79	4.1	21.4
I1 育児：14 とめどなく叱ってしまう	1445	74.7	300	15.5	154	8.0	35	1.8	9.8
I1 育児：15 子どものことを許せない	1776	91.9	125	6.5	29	1.5	3	0.2	1.7
I1 育児：16 よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす	1553	80.4	216	11.2	146	7.6	17	0.9	8.4
I1 育児：17 子どもを育てることが負担である	1498	77.5	298	15.4	114	5.9	23	1.2	7.1
I1 育児：20 育児のことで周囲からのプレッシャーを感じる	1560	80.7	247	12.8	100	5.2	27	1.4	6.6
I1 育児：22 子育てのことで妻と意見が合わない	1117	57.9	478	24.8	260	13.5	74	3.8	17.3

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I1 育児：3 子どものことは理解できている	475	24.6	922	47.8	395	20.5	136	7.1	27.5
I1 育児：7 子どもをうまく育てている	487	25.3	909	47.1	418	21.7	114	5.9	27.6
I1 育児：18 子育てに悩んだときに相談できるひとがいる	864	44.9	463	24.1	288	15.0	310	16.1	31.1
I1 育児：19 子育てのことで地域等に相談できる場がある	316	16.6	385	20.2	413	21.6	794	41.6	63.3
I1 育児：21 子育てのための地域子育て支援センターなどを積極的に利用している	130	6.7	153	7.9	226	11.7	1417	73.6	85.3

表 10-2 領域Ⅱ 妻に関する18項目

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I2 妻：3 母親としての自覚が足りない	1414	73.4	309	16.0	157	8.2	46	2.4	10.5
I2 妻：4 妻は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない	1393	72.6	371	19.3	137	7.1	18	0.9	8.1
I2 妻：5 家庭内に関する事柄について妻には期待できない	1521	78.9	308	16.0	81	4.2	17	0.9	5.1
I2 妻：9 妻は子どもに関心がない	1783	92.5	101	5.2	26	1.3	17	0.9	2.2
I2 妻：10 妻は仕事や興味だけに打ち込んでいる	1772	91.9	114	5.9	35	1.8	8	0.4	2.2
I2 妻：11 妻は子どもをどのように扱ったらよいかわからない	1423	73.8	325	16.8	167	8.7	14	0.7	9.4
I2 妻：13 妻と話し合う時間がない	649	33.7	296	15.4	662	34.4	320	16.6	51.0
I2 妻：14 子どもは母親になつていない	1795	93.1	71	3.7	19	1.0	42	2.2	3.2
I2 妻：15 妻は家事や育児に消極的である	1523	79.0	189	9.8	80	4.2	135	7.0	11.2
I2 妻：17 妻はほとんど家にいない	1657	86.0	169	8.8	81	4.2	20	1.0	5.2

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I2 妻：1 妻は私や子どものためによくしてくれる	1403	72.7	418	21.7	84	4.4	24	1.2	5.6
I2 妻：2 妻は精神的に私を支えてくれる	1131	58.8	549	28.5	184	9.6	60	3.1	12.7
I2 妻：6 妻は育児のことで相談にのってくれる	1367	71.1	396	20.6	96	5.0	63	3.3	8.3
I2 妻：7 妻は子どもとよく遊び、面倒見がよい	1319	68.3	464	24.0	119	6.2	28	1.5	7.6
I2 妻：8 妻と気持ちが通じ合っている	936	48.7	710	36.9	213	11.1	63	3.3	14.4
I2 妻：12 この人と結婚して幸せである	1480	77.0	349	18.2	62	3.2	31	1.6	4.8
I2 妻：16 妻は幸せな気分で過ごしている	681	35.6	843	44.1	306	16.0	83	4.3	20.3
I2 妻：18 たいていのことでは妻と考え方が合う	789	41.1	642	33.4	333	17.3	156	8.1	25.5

表 10-3 領域Ⅲ 家族に関する 15 項目

	いいえ		ややいいえ		ややはいい		はい		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I3 家族：2何かと家庭内にもめごとが起こる	1138	58.9	476	24.6	250	12.9	69	3.6	16.5
I3 家族：3家庭には私の居場所がない	1462	75.8	287	14.9	143	7.4	37	1.9	9.3
I3 家族：4家庭内に心配事がある	1004	52.0	346	17.9	430	22.3	151	7.8	30.1
I3 家族：5家族の中で私だけがつらい思いをしている	1609	83.2	244	12.6	56	2.9	24	1.2	4.1
I3 家族：6祖父母などの家族に干渉される	1382	71.6	220	11.4	241	12.5	87	4.5	17.0
I3 家族：7家族は子育ての大変さを理解してくれない	1638	84.8	218	11.3	53	2.7	22	1.1	3.9
I3 家族：9家庭の中がしっくりいかない	1449	75.1	301	15.6	138	7.2	42	2.2	9.3
I3 家族：10妊娠中、家族の理解が得られなくて大変だった	1644	86.5	181	9.5	59	3.1	16	0.8	3.9

	いいえ		ややいいえ		ややはいい		はい		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I3 家族：1 家族としてのまとまりを感じる	1104	57.2	635	32.9	143	7.4	49	2.5	9.9
I3 家族：8 家族は私の趣味や仕事を理解し協力してくれる	1126	58.3	553	28.6	172	8.9	80	4.1	13.1
I3 家族：11 1 自分の父親との関係は良好である (だった)	1082	56.6	479	25.0	183	9.6	169	8.8	18.4
I3 家族：12 2 自分の母親との関係は良好である (だった)	1196	62.3	526	27.4	117	6.1	82	4.3	10.4
I3 家族：13 3 自分の親には大事に、大切に育てられたと思う	1306	67.7	461	23.9	105	5.4	56	2.9	8.4
I3 家族：14 4 子そだでするにあたって自分の親をモデルにしたいと思う	389	20.2	660	34.3	414	21.5	461	24.0	45.5
I3 家族：15 5 子どもの頃、幸せに過ごしてきた	1081	56.2	593	30.8	178	9.2	73	3.8	13.0

表 10-4 領域IV 父親自身の心身の状態に関する 28 項目

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I4自身：1 気が滅入る	975	50.5	388	20.1	429	22.2	138	7.2	29.4
I4自身：2 不安や恐怖感におそわれる	1139	59.0	355	18.4	326	16.9	110	5.7	22.6
I4自身：3 悲観的になりやすい	1089	56.5	390	20.2	339	17.6	111	5.8	23.3
I4自身：4 とても心配性であれこれ気に病む	869	45.0	422	21.9	468	24.3	170	8.8	33.1
I4自身：5 精神的に不調である	1221	63.3	393	20.4	227	11.8	89	4.6	16.4
I4自身：6 何ともいえずさびしい気持ちにおそわれることがある	1235	64.0	326	16.9	255	13.2	115	6.0	19.2
I4自身：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない	1488	77.0	310	16.0	100	5.2	35	1.8	7.0
I4自身：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう	1050	54.4	397	20.6	371	19.2	112	5.8	25.0
I4自身：9 おこりっぽい	700	36.2	428	22.2	587	30.4	217	11.2	41.6
I4自身：10 イライラしている	884	45.8	539	27.9	382	19.8	127	6.6	26.3
I4自身：11 精神的にゆとりがない	790	40.9	538	27.9	460	23.8	142	7.4	31.2
I4自身：12 沈みがち	1217	63.0	422	21.9	224	11.6	68	3.5	15.1
I4自身：14 眠れない	1450	75.0	244	12.6	174	9.0	66	3.4	12.4
I4自身：15 淋しい	1437	74.3	306	15.8	139	7.2	51	2.6	9.8
I4自身：16 仕事うまくいってない	1007	52.1	469	24.3	351	18.2	105	5.4	23.6
I4自身：17 仕事に行きたくない、やる気を失っている	1139	59.0	429	22.2	269	13.9	94	4.9	18.8
I4自身：19 居場所がない	1484	76.9	310	16.1	102	5.3	35	1.8	7.1
I4自身：21 体調が不良であったり、病気がちである	1281	66.2	314	16.2	270	14.0	69	3.6	17.5
I4自身：22 疲れている	508	26.3	274	14.2	707	36.6	443	22.9	59.5
I4自身：27 男として足りない点が多い	375	19.4	529	27.4	696	36.1	329	17.1	53.1
I4自身：28 男としてもうひとつしっかりしていないと思う	512	26.5	485	25.1	633	32.8	301	15.6	48.4

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I4自身：11 楽天的でくよくよ考えない	429	22.2	632	32.7	519	26.9	350	18.1	45.0
I4自身：18 生き生きしている	514	26.7	754	39.1	495	25.7	163	8.5	34.2
I4自身：20 将来の見通しは明るい	323	16.8	720	37.5	628	32.7	250	13.0	45.7
I4自身：23 男性として誇りを持って生きている	800	41.5	724	37.6	309	16.0	95	4.9	21.0
I4自身：24 男として家族を守り支えとなっている	922	47.8	771	40.0	173	9.0	62	3.2	12.2
I4自身：25 男として妻や子どもを幸せにしたいと思っている	1680	87.0	213	11.0	19	1.0	20	1.0	2.0
I4自身：26 男として責任感が強い	918	47.5	759	39.3	190	9.8	64	3.3	13.2

表 10-5 領域V 妻の心身状態に関する 25 項目

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I5 妻：1 気が滅入っている	941	48.8	463	24.0	437	22.7	86	4.5	27.1
I5 妻：2 不安や恐怖感におそわれている	1166	60.5	440	22.8	275	14.3	45	2.3	16.6
I5 妻：3 悲観的になりやすい	1023	53.2	387	20.1	389	20.2	124	6.4	26.7
I5 妻：4 とても心配性であれこれ気に病んでいる	888	46.1	453	23.5	452	23.5	134	7.0	30.4
I5 妻：5 精神的に不調である	1104	57.4	446	23.2	305	15.9	69	3.6	19.4
I5 妻：6 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがあるようだ	1128	58.5	399	20.7	303	15.7	97	5.0	20.8
I5 妻：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない	1426	74.0	356	18.5	111	5.8	34	1.8	7.5
I5 妻：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう	954	49.7	388	20.2	439	22.9	140	7.3	30.1
I5 妻：9 おこりっぽい	547	28.4	380	19.7	714	37.0	288	14.9	51.9
I5 妻：10 イライラしている	623	32.3	455	23.6	625	32.4	224	11.6	44.1
I5 妻：11 精神的にゆとりがない	805	41.8	524	27.2	459	23.9	136	7.1	30.9
I5 妻：12 沈みがち	1185	61.5	477	24.8	208	10.8	57	3.0	13.8
I5 妻：13 眠れないようだ	1325	68.7	325	16.8	213	11.0	66	3.4	14.5
I5 妻：14 淋しそう	1320	68.5	384	19.9	181	9.4	43	2.2	11.6
I5 妻：15 仕事や家事がうまくいっていない	1269	65.8	451	23.4	167	8.7	42	2.2	10.8
I5 妻：16 仕事に行きたくない、仕事や家事をやる気を失っている	1390	72.1	369	19.1	138	7.2	30	1.6	8.7
I5 妻：17 居場所がない	1631	84.6	228	11.8	56	2.9	12	0.6	3.5
I5 妻：18 出産後、気持ちが沈み、おっくうで何もする気がなかった	1429	74.3	308	16.0	143	7.4	44	2.3	9.7
I5 妻：19 体調の不良を訴えたり、病気がちである	1212	62.9	338	17.5	288	15.0	88	4.6	19.5
I5 妻：20 疲れている	420	21.8	337	17.5	807	41.9	362	18.8	60.7

	いいえ		ややいいえ		ややはい		はい		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I5 妻：21 楽天的でくよくよ考えない	391	20.3	586	30.4	562	29.2	387	20.1	49.3
I5 妻：22 生き生きしている	643	33.5	842	43.8	333	17.3	103	5.4	22.7
I5 妻：23 将来の見通しは明るい	534	27.8	822	42.9	428	22.3	134	7.0	29.3
I5 妻：24 妻が落ち込んだ時に話し相手になり、話をよく聴く	519	27.0	800	41.6	467	24.3	135	7.0	31.3
I5 妻：25 妻が子育てに悩んでいるときは精神的に支えるようにしている	803	41.8	856	44.6	191	9.9	71	3.7	13.6

表 10-6 領域VI 乳児期に関する8項目

	いいえ		ややいいえ		ややはいい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I6 乳児：1 よく泣いてなだめにくい (なだめにくかった)	985	52.2	415	22.0	318	16.9	168	8.9	25.8
I6 乳児：2 わけもわからず泣く (泣いた)	989	52.4	424	22.5	305	16.2	168	8.9	25.1
I6 乳児：3 あまり眠らない (眠らなかった)	1176	62.3	378	20.0	214	11.3	119	6.3	17.6
I6 乳児：4 抱っこや外に連れ出すなどねむるまで手がかかる	994	52.8	396	21.0	314	16.7	178	9.5	26.1
I6 乳児：5 一晩に何回も起される (起こされた)	822	43.6	411	21.8	408	21.6	244	12.9	34.6
I6 乳児：7 一日の生活リズムが一定しない (一定しなかった)	934	49.5	566	30.0	296	15.7	90	4.8	20.5
I6 乳児：8 夜泣きがひどい (ひどかった)	1040	55.1	481	25.5	245	13.0	121	6.4	19.4

	いいえ		ややいいえ		ややはいい		はい		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I6 乳児：6 おとなしく手がかからない (かからなかった)	432	22.9	575	30.5	539	28.6	339	18.0	46.6

表 10-7 領域VII 子どもの各年齢時における心身状態に関する項目

	はい		ややはいい		ややいいえ		いいえ		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I70 歳：1 いつも元気である	178	82.4	34	15.7	3	1.4	1	0.5	1.9
I70 歳：7 活発で生き生きしている	159	76.4	38	18.3	1	0.5	10	4.8	5.3

	はい		ややはいい		ややいいえ		いいえ		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I70 歳：2 心配になる行動がある	149	70.6	28	13.3	27	12.8	7	3.3	16.1
I70 歳：3 指しゃぶりがあ	81	38.6	11	5.2	47	22.4	71	33.8	56.2
I70 歳：4 ミルク飲みが悪かったり、離乳食を嫌がるなど	149	71.6	30	14.4	21	10.1	8	3.8	13.9
I70 歳：5 夜泣きがある	96	45.9	42	20.1	37	17.7	34	16.3	34.0
I70 歳：6 おびえたり、ひどくこわがる	176	84.6	22	10.6	8	3.8	2	1.0	4.8
I70 歳：8 機嫌が変わりやすい	101	48.6	54	26.0	38	18.3	15	7.2	25.5
I70 歳：9 慢性的な病気がある	184	88.5	12	5.8	9	4.3	3	1.4	5.8
I70 歳：10 発達の全般的な遅れがある	183	88.0	12	5.8	9	4.3	4	1.9	6.3
I70 歳：11 人見知り強い	135	64.6	42	20.1	25	12.0	7	3.3	15.3
I70 歳：12 かんしゃくをよく起こす	156	75.0	33	15.9	12	5.8	7	3.4	9.1

	はい		ややはいい		ややいいえ		いいえ		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I71 歳：1 いつも元気で明るい	265	86.0	42	13.6	0	0.0	1	0.3	0.3
I71 歳：8 活発で生き生きしている	248	81.3	48	15.7	2	0.7	7	2.3	3.0

	はい		ややはい		ややいいえ		いいえ		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I71歳：2心配になる行動や癖がある	209	68.5	45	14.8	33	10.8	18	5.9	16.7
I71歳：3指しゃぶりや爪かみがある	203	66.6	28	9.2	29	9.5	45	14.8	24.3
I71歳：4偏食・小食・乳離れしないなどの食事の問題がある	196	64.5	36	11.8	47	15.5	25	8.2	23.7
I71歳：5夜泣きがある	135	44.3	55	18.0	76	24.9	39	12.8	37.7
I71歳：6おびえたり、ひどくこわがる	253	83.0	32	10.5	14	4.6	6	2.0	6.6
I71歳：7とても落ち着きがない	170	58.2	42	14.4	60	20.5	20	6.8	27.4
I71歳：9おこりっぽい	147	50.3	53	18.2	73	25.0	19	6.5	31.5
I71歳：10機嫌が変わりやすい	150	49.2	65	21.3	59	19.3	31	10.2	29.5
I71歳：11慢性的な病気がある	278	91.4	11	3.6	8	2.6	7	2.3	4.9
I71歳：12発達の全般的な遅れがある	282	92.8	11	3.6	7	2.3	4	1.3	3.6
I71歳：13人見知りが強い	184	60.9	55	18.2	42	13.9	21	7.0	20.9
I71歳：14かんしゃくをよく起こす	200	65.8	39	12.8	49	16.1	16	5.3	21.4
I71歳：15乱暴	166	57.0	45	15.5	58	19.9	22	7.6	27.5
I71歳：16ことばの発達が遅れている	190	71.7	45	17.0	25	9.4	5	1.9	11.3

	はい		ややはい		ややいいえ		いいえ		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I72歳：1いつも元気で明るい	266	89.6	29	9.8	1	0.3	1	0.3	0.7
I72歳：8活発で生き生きしている	235	81.3	46	15.9	5	1.7	3	1.0	2.8

	はい		ややはい		ややいいえ		いいえ		否定的回答 合計 (%)
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
I72歳：2心配になる行動やくせがある	157	52.9	37	12.5	66	22.2	37	12.5	34.7
I72歳：3指しゃぶりや爪かみがある	205	69.3	20	6.8	20	6.8	51	17.2	24.0
I72歳：4偏食・小食・過食などの食事の問題がある	125	42.1	41	13.8	92	31.0	39	13.1	44.1
I72歳：5夜泣きがある	199	67.0	39	13.1	44	14.8	15	5.1	19.9
I72歳：6おびえたりひどくこわがる	219	75.3	41	14.1	25	8.6	6	2.1	10.7
I72歳：7とても落ち着きがない	142	49.1	35	12.1	77	26.6	35	12.1	38.8
I72歳：9おこりっぽい	122	42.1	54	18.6	76	26.2	38	13.1	39.3
I72歳：10機嫌が変わりやすい	125	43.0	48	16.5	72	24.7	46	15.8	40.5
I72歳：11慢性的な病気がある	263	90.7	10	3.4	7	2.4	10	3.4	5.9
I72歳：12発達の全般的な遅れがある	251	86.6	18	6.2	13	4.5	8	2.8	7.2
I72歳：13人見知りが強い	175	60.3	50	17.2	45	15.5	20	6.9	22.4
I72歳：14かんしゃくをよく起こす	165	56.9	55	19.0	50	17.2	20	6.9	24.1
I72歳：15目をパチパチさせるくせがある	264	91.3	17	5.9	4	1.4	4	1.4	2.8
I72歳：16どもるくせがある	261	90.3	12	4.2	11	3.8	5	1.7	5.5
I72歳：17子どもとうまく遊べない	212	73.6	39	13.5	28	9.7	9	3.1	12.8
I72歳：18子どもの中に入れない	212	73.4	36	12.5	31	10.7	10	3.5	14.2
I72歳：19乱暴	151	52.2	61	21.1	55	19.0	22	7.6	26.6
I72歳：20ことばの発達が遅れている	221	76.5	30	10.4	22	7.6	16	5.5	13.1
I72歳：21外では話をしない	231	81.6	30	10.6	14	4.9	8	2.8	7.8

	はい		ややはい		ややいいえ		いいえ		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I73歳以上：1いつも元気で明るい	1369	81.6	278	16.6	22	1.3	8	0.5	1.8
I73歳以上：8活発で生き生きしている	1218	72.5	372	22.1	48	2.9	43	2.6	5.4

	はい		ややはい		ややいいえ		いいえ		否定的回答
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	合計 (%)
I73歳以上：2心配になる行動やくせがある	840	50.1	250	14.9	395	23.6	192	11.4	35.0
I73歳以上：3指しゃぶりや爪かみがある	1125	67.0	135	8.0	201	12.0	219	13.0	25.0
I73歳以上：4偏食・小食・過食などの食事の問題がある	775	46.3	234	14.0	434	25.9	232	13.9	39.8
I73歳以上：5夜泣きがある	1469	87.4	116	6.9	71	4.2	24	1.4	5.7
I73歳以上：6おびえたり、ひどくこわがる	1285	76.4	204	12.1	148	8.8	46	2.7	11.5
I73歳以上：7とても落ち着きがない	902	53.7	279	16.6	342	20.4	157	9.3	29.7
I73歳以上：9おこりっぽい	731	43.6	344	20.5	448	26.7	154	9.2	35.9
I73歳以上：10機嫌が変わりやすい	796	47.3	354	21.0	376	22.4	156	9.3	31.6
I73歳以上：11保育園や幼稚園に行くのをいやがる	1348	80.6	170	10.2	121	7.2	34	2.0	9.3
I73歳以上：12慢性的な病気がある	1468	87.3	57	3.4	76	4.5	81	4.8	9.3
I73歳以上：13発達の全般的な遅れがある	1498	89.1	93	5.5	58	3.5	32	1.9	5.4
I73歳以上：14人見知りが強い	988	58.7	314	18.7	288	17.1	92	5.5	22.6
I73歳以上：15かんしゃくをよく起こす	1102	65.6	258	15.3	246	14.6	75	4.5	19.1
I73歳以上：16目をパチパチさせるくせがある	1552	92.3	69	4.1	40	2.4	20	1.2	3.6
I73歳以上：17どもるくせがある	1504	89.5	93	5.5	64	3.8	19	1.1	4.9
I73歳以上：18遊ぶ友達がいない	1407	83.8	157	9.4	90	5.4	24	1.4	6.8
I73歳以上：19友だちとうまく遊べない	1315	78.4	219	13.1	124	7.4	20	1.2	8.6
I73歳以上：20子どもの中に入れない	1332	79.3	199	11.8	133	7.9	16	1.0	8.9
I73歳以上：21乱暴	1135	67.6	232	13.8	231	13.8	80	4.8	18.5
I73歳以上：22おしっこ・うんちの始末ができない	1342	80.2	157	9.4	111	6.6	64	3.8	10.5
I73歳以上：23ことばの発達が遅れている	1472	87.5	94	5.6	82	4.9	34	2.0	6.9
I73歳以上：24発音がはっきりしない	1361	81.0	156	9.3	133	7.9	30	1.8	9.7
I73歳以上：25外では話をしない	1438	85.6	140	8.3	90	5.4	11	0.7	6.0

表 11 領域間の相関係数

		相関係数						
		領域Ⅰ 育児 (22項目)の 合計点	領域Ⅱ 妻 (18項目) の合計点	領域Ⅲ 家族 (15項目)の 合計点	領域Ⅳ 自分 の心身状態 (28項目)の 合計点	領域Ⅴ 妻の 心身状態(25 項目)の合計点	領域Ⅵ 赤 ちゃんのこ ろの様子(8項 目)の合計点	領域ⅠからⅥ までの合計点
領域Ⅰ 育児(22項目)の 合計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	1 1861	.476** .000 1801	.505** .000 1788	.618** .000 1825	.472** .000 1802	.264** .000 1799	.774** .000 1621
領域Ⅱ 妻(18項目)の合 計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	.476** .000 1801	1 1859	.639** .000 1783	.442** .000 1820	.612** .000 1802	.125** .000 1798	.733** .000 1621
領域Ⅲ 家族(15項目)の 合計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	.505** .000 1788	.639** .000 1783	1 1844	.545** .000 1810	.544** .000 1791	.199** .000 1783	.753** .000 1621
領域Ⅳ 自分の心身状態(2 8項目)の合計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	.618** .000 1825	.442** .000 1820	.545** .000 1810	1 1885	.534** .000 1827	.248** .000 1821	.839** .000 1621
領域Ⅴ 妻の心身状態(25 項目)の合計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	.472** .000 1802	.612** .000 1802	.544** .000 1791	.534** .000 1827	1 1863	.244** .000 1807	.811** .000 1621
領域Ⅵ 赤ちゃんのころの 様子(8項目)の合計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	.264** .000 1799	.125** .000 1798	.199** .000 1783	.248** .000 1821	.244** .000 1807	1 1866	.402** .000 1621
領域ⅠからⅥまでの合計点	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) N	.774** .000 1621	.733** .000 1621	.753** .000 1621	.839** .000 1621	.811** .000 1621	.402** .000 1621	1 1621

\*\*. 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) です。

表 12 第 1 回の因子分析 因子スコア 各因子を構成する項目リスト

	1	2	3	4	5	6	7
15 妻：3 悲観的になりやすい	0.7876	0.0903	0.1699	0.0429	0.0668	-0.0010	0.0327
15 妻：5 精神的に不調である	0.7739	0.1815	0.2161	0.0230	0.0462	0.0403	0.0094
15 妻：2 不安や恐怖感におそわれている	0.7695	0.2266	0.1529	0.0297	0.0773	0.0723	0.0561
15 妻：1 3 沈みがち	0.7627	0.1565	0.1741	0.0653	0.0864	0.0500	0.0191
15 妻：6 何ともいえず淋しい気持ちにおそわ れることがあるようだ	0.7537	0.1639	0.0969	0.0068	0.0725	0.0352	0.0378
15 妻：4 とも心配性であれこれ気に病んでいる	0.7510	0.0799	0.1044	0.0484	0.0672	0.0253	0.0405
15 妻：1 気が滅入っている	0.7202	0.1916	0.1321	0.0865	0.0963	0.0929	0.0431
15 妻：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう	0.6763	0.0937	0.1070	0.0324	0.0547	0.0337	0.0426
15 妻：1 5 淋しそう	0.6434	0.1660	0.1783	0.0175	0.0853	0.0219	0.0254
15 妻：1 2 精神的にゆとりがない	0.6288	0.1607	0.2423	0.0462	0.0499	0.0118	0.0515
15 妻：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない	0.6230	0.1823	0.2153	0.0349	0.0403	0.1214	0.0164
15 妻：2 2 体調の不良を訴えたり、病気がちである	0.4859	0.0928	0.0624	0.1060	0.0280	0.0495	0.0180
15 妻：1 4 眠れないようだ	0.4622	0.0764	0.0346	0.1694	0.0902	0.0515	0.0107
15 妻：2 3 疲れている	0.4123	0.1323	0.0005	0.1660	0.0869	0.0602	0.0306
12 妻：1 6 妻は幸せな気分で過ごしている	0.3958	0.1599	0.3710	0.0315	0.0961	0.0928	0.0880
12 妻：1 1 妻は子どもをどのように扱ったら よいかわからない	0.3812	0.0941	0.2325	0.0557	0.1570	0.0693	0.0408
15 妻：1 1 楽天的でくよくよ考えない	0.3628	-0.0664	0.0757	0.0254	0.0612	-0.0258	0.0033
15 妻：2 1 出産後、気持ちが沈み、おっくう で何もする気がなかった	0.3624	0.0739	0.1611	0.1153	0.0020	0.0719	-0.0349
15 妻：1 9 居場所がない	0.3475	0.1574	0.2005	0.0098	0.0012	0.1312	0.0871
13 家族：4 家庭内に心配事がある	0.3386	0.2998	0.2581	0.0451	0.1465	0.0923	0.0610
14 自身：1 3 沈みがち	0.1494	0.7921	0.0643	0.0769	0.1286	0.0855	0.0814
14 自身：5 精神的に不調である	0.1785	0.7870	0.1221	0.0381	0.0814	0.0767	0.0374

I4 自身：3 悲観的になりやすい	0.1043	0.7487	0.0685	0.0455	0.1544	0.1060	0.0329
I4 自身：2 不安や恐怖感におそわれる	0.1562	0.7427	0.0972	0.0222	0.1364	0.0966	0.0507
I4 自身：1 気が滅入る	0.2032	0.7162	0.1899	0.0894	0.1294	0.0901	0.0308
I4 自身：6 何ともいえずさびしい気持ちにおそわれることがある	0.1542	0.6945	0.1188	0.0516	0.0680	0.0659	0.0732
I4 自身：4 とても心配性であれこれ気に病む	0.1038	0.6787	0.0253	0.0311	0.1020	0.1401	-0.0383
I4 自身：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない	0.1774	0.6450	0.0809	0.0783	0.0907	0.1457	0.0694
I4 自身：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう	0.1133	0.6162	0.0367	0.0247	0.0305	0.1266	0.0445
I4 自身：1 2 精神的にゆとりがない	0.1628	0.6046	0.1116	0.0790	0.1852	0.0671	0.0860
I4 自身：1 5 淋しい	0.1426	0.5866	0.2305	0.0728	0.1028	0.0754	0.0806
I4 自身：1 6 仕事があまくいってない	0.1304	0.5067	0.1242	0.0540	0.0929	0.0435	0.0690
I4 自身：1 4 眠れない	0.0772	0.4885	0.0907	0.0691	0.0817	0.1158	0.0860
I4 自身：1 9 居場所がない	0.1746	0.4475	0.3084	0.0273	0.1132	0.0800	0.0388
I4 自身：2 1 体調が不良であったり、病気がちである	0.1368	0.4405	0.0614	0.0690	0.0798	0.0000	0.0591
I4 自身：1 1 楽天的でくよくよ考えない	-0.0974	0.4320	0.0061	0.0058	0.1210	0.0475	0.0241
I4 自身：1 8 生き生きしている	0.0884	0.4304	0.1547	0.0728	0.1424	0.0202	0.0986
I4 自身：2 2 疲れている	0.1999	0.3749	0.0981	0.1436	0.0489	0.0262	0.0798
I2 妻：2 妻は精神的に私を支えてくれる	0.1805	0.0866	0.7974	0.0162	0.0618	0.0173	0.0575
I2 妻：1 妻は私や子どものためによくしてくれる	0.1446	0.0442	0.6919	0.0069	0.0029	0.0284	0.0724
I2 妻：1 2 この人と結婚して幸せである	0.1124	0.1003	0.6843	-0.0265	0.0295	0.0291	0.1235
I2 妻：8 妻と気持ちが通じ合っている	0.2020	0.2001	0.6638	-0.0118	0.1314	0.0784	0.1109
I2 妻：5 家庭内に関する事柄について妻には期待できない	0.1416	0.0721	0.5482	0.0564	0.0436	0.0247	0.0189
I3 家族：9 家庭の中がしっくりいかない	0.2319	0.2500	0.5238	0.0346	0.0763	0.0487	0.0593
I2 妻：4 妻は子育ての大変さなど私の苦労をわかっていない	0.1654	0.1177	0.5153	0.0395	0.1308	0.0628	0.0724
I3 家族：8 家族は私の趣味や仕事を理解し協力してくれる	0.1974	0.0535	0.5134	0.0502	0.0737	-0.0056	0.0958
I2 妻：6 妻は育児のことで相談にのってくれる	0.0977	0.0434	0.4958	0.0339	0.0685	0.1164	0.1013
I1 育児：2 2 子育てのことで妻と意見が合わない	0.2387	0.1745	0.4950	0.0511	0.1174	0.1229	0.0094
I3 家族：1 家族としてのまとまりを感じる	0.2017	0.1988	0.4822	0.0435	0.1394	0.0990	0.1045
I2 妻：1 8 たいいていこのことでは妻と考え方が合う	0.1660	0.0952	0.4586	0.0313	0.0757	0.0871	0.0744
I2 妻：3 母親としての自覚が足りない	0.1883	0.0301	0.4578	0.0263	0.0371	0.0071	0.0258
I3 家族：3 家庭には私の居場所がない	0.1243	0.2811	0.4487	0.0095	0.1412	0.0561	0.0450
I3 家族：5 家族の中で私だけがつらい思いをしている	0.0975	0.2370	0.4289	0.0363	0.0451	0.0728	0.0653
I3 家族：2 何かと家庭内にもめごとが起こる	0.3166	0.1804	0.3957	0.0345	0.0908	0.1543	0.0985
I6 乳児：8 夜泣きがひどい（ひどかった）	0.0469	0.0585	0.0312	0.7796	0.0307	0.0532	0.0156
I6 乳児：5 一晩に何回も起される（起こされた）	0.0479	0.0477	0.0040	0.7381	0.0406	0.0218	0.0144
I6 乳児：4 抱っこや外に連れ出すなどねむるまで手がかかる	0.0934	0.0938	-0.0104	0.7362	0.0632	0.0014	0.0275
I6 乳児：1 よく泣いてなだめにくい（なだめにくかった）	0.0902	0.0909	0.0431	0.7282	0.1102	0.0694	0.0202

## 川井他：父親の育児不安に関する基礎的研究 I

I6 乳児：2 わけもわからず泣く（泣いた）	0.0966	0.1000	0.0226	0.6838	0.0994	0.1072	0.0052
I6 乳児：3 あまり眠らない（眠らなかった）	0.0922	0.0783	0.0120	0.6774	0.0419	0.0273	0.0434
I6 乳児：6 おとなしく手がかからない（かか らなかった）	0.0247	0.0132	0.0480	0.5938	0.0290	0.0123	0.0340
I6 乳児：7 一日の生活リズムが一定しない（一 定しなかった）	0.1301	0.1177	0.0648	0.5176	0.0971	0.0688	0.0167
I1 育児：2 子どものことでどうしたらよいかわからない	0.1132	0.2592	0.0961	0.1145	0.7712	0.1693	0.0541
I1 育児：1 育児に自信が持てない	0.0800	0.2292	0.1078	0.0758	0.7580	0.1526	0.0718
I1 育児：4 どのようにしついたらよいかわからない	0.1268	0.1876	0.0944	0.1083	0.6516	0.1666	0.0187
I1 育児：6 子育てに困難を感じる	0.1791	0.2171	0.1455	0.1344	0.5227	0.2359	0.0226
I1 育児：5 父親として不適格と感じる	0.1140	0.2601	0.2033	0.0222	0.4954	0.2435	0.0556
I1 育児：8 育児についていろいろ心配なことがある	0.1706	0.2264	-0.0264	0.1288	0.4418	0.1770	-0.0144
I1 育児：7 子どもをうまく育てている	0.1186	0.1596	0.1871	0.0324	0.3845	0.1780	0.0371
I1 育児：1 4 とめどなく叱ってしまう	0.0556	0.1447	0.0772	0.0306	0.0900	0.7184	-0.0011
I1 育児：1 3 子どもは何で叱られているか分 からないのに叱ってしまう	0.0878	0.1482	0.0641	0.0741	0.1874	0.6038	0.0453
I1 育児：1 2 子どもに八つ当たりしては反省 して落ち込む	0.0651	0.1848	0.0308	0.0615	0.1854	0.5535	0.0085
I1 育児：1 5 子どものことを許せない	0.0446	0.1088	0.1195	0.0325	0.1295	0.4960	0.0200
I1 育児：1 0 子どもを虐待しているのではないかと 思う	0.0889	0.1499	0.0847	0.0263	0.2226	0.4715	0.0201
I1 育児：9 子どものことがわからなくてイライラする	0.1041	0.1542	0.1181	0.1146	0.3283	0.4106	0.0617
I3 家族：1 3 自分の親には大事に、大切に育 てられたと思う	0.0317	0.0671	0.1271	0.0356	0.0245	0.0637	0.7979
I3 家族：1 5 子どもの頃、幸せに過ごしてきた	0.0410	0.1553	0.1582	0.0347	0.0366	0.0254	0.7278
I3 家族：1 2 自分の母親との関係は良好である（だった）	0.0814	0.1021	0.1057	0.0267	0.0267	0.0357	0.6374
I3 家族：1 1 自分の父親との関係は良好である（だった）	0.0491	0.1054	0.0987	0.0098	0.0597	0.0365	0.6245
I3 家族：1 4 子そだてするにあたって自分の 親をモデルにしたいと思う	0.0196	0.0503	0.0557	0.0497	0.0159	-0.0269	0.5728
I2 妻：7 妻は子どもとよく遊び、面倒見がよい	0.2025	0.0375	0.4317	0.0016	0.0121	0.0698	0.1191
I4 自身：2 0 将来の見通しは明るい	0.1298	0.3215	0.1831	0.0671	0.1540	0.0349	0.0917
I5 妻：1 8 生き生きしている	0.3588	0.1357	0.2533	0.0863	0.0659	0.0484	0.0529
I5 妻：1 0 イライラしている	0.5333	0.1435	0.2621	0.0352	0.0627	0.0743	0.0438
I5 妻：9 おこりっぽい	0.4410	0.1374	0.2832	0.0112	0.0535	0.0705	0.0459
I4 自身：1 7 仕事に行きたくない、やる気を失っている	0.1152	0.4827	0.0919	0.0704	0.1401	0.0645	0.0668
I5 妻：1 7 仕事に行きたくない、仕事や家事 をやる気を失っている	0.4708	0.1484	0.3048	0.0643	0.0597	0.0483	-0.0093
I5 妻：1 6 仕事や家事がうまくいっていない	0.4480	0.1403	0.3187	0.0430	0.0775	0.0792	0.0321
I4 自身：9 おこりっぽい	0.1180	0.3432	0.0713	0.0293	0.1055	0.3531	0.1257
I4 自身：1 0 イライラしている	0.1876	0.5104	0.1291	0.0779	0.1194	0.2576	0.1177

表13 第1回の因子分析 分散の割合

説明された分散の合計

因子	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和			回転後の負荷量平方和		
	合計	分散の%	累積%	合計	分散の%	累積%	合計	分散の%	累積%
1	25.252873	21.769718	21.769718	24.689887	21.284386	21.284386	9.7117015	8.3721565	8.3721565
2	6.5414016	5.6391393	27.408858	6.0241005	5.1931901	26.477576	9.6522203	8.3208795	16.693036
3	4.8150714	4.1509236	31.559781	4.3733499	3.7701293	30.247705	7.4937763	6.460152	23.153188
4	4.0958817	3.5309325	35.090714	3.6799657	3.1723842	33.420089	4.2050701	3.6250604	26.778248
5	3.2393677	2.7925584	37.883272	2.6465433	2.2815028	35.701592	3.9107941	3.3713742	30.149623
6	3.0066008	2.5918972	40.475169	2.4742761	2.1329966	37.834589	3.0693753	2.6460132	32.795636
7	2.5755319	2.2202861	42.695455	1.8258351	1.5739958	39.408584	2.7279885	2.3517142	35.14735

表14 第2回目の因子分析

	1	2	3	4	5	6	7
15 妻：3 悲観的になりやすい	0.7819	0.0866	0.1902	0.0461	0.0666	0.0056	0.0317
15 妻：5 精神的に不調である	0.7797	0.1719	0.2297	0.0217	0.0449	0.0373	0.0124
15 妻：2 不安や恐怖感におそわれている	0.7729	0.2176	0.1577	0.0349	0.0770	0.0735	0.0631
15 妻：1 3 沈みがち	0.7668	0.1475	0.2017	0.0664	0.0830	0.0426	0.0171
15 妻：6 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがあるようだ	0.7454	0.1647	0.1037	0.0135	0.0688	0.0451	0.0426
15 妻：4 とても心配性であれこれ気に病んでいる	0.7389	0.0777	0.1043	0.0547	0.0728	0.0388	0.0467
15 妻：1 気が滅入っている	0.7206	0.1803	0.1351	0.0850	0.0958	0.0804	0.0468
15 妻：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう	0.6713	0.0933	0.1149	0.0442	0.0627	0.0572	0.0441
15 妻：1 5 淋しそう	0.6389	0.1621	0.1886	0.0238	0.0851	0.0322	0.0321
15 妻：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない	0.6267	0.1815	0.2421	0.0412	0.0351	0.1370	0.0191
15 妻：1 2 精神的にゆとりがない	0.6259	0.1523	0.2600	0.0438	0.0542	-0.0061	0.0413
15 妻：1 7 仕事に行きたくない、仕事や家事をやる気を失っている	0.4976	0.1433	0.3612	0.0619	0.0680	0.0583	-0.0196
15 妻：2 2 体調の不良を訴えたり、病気がちである	0.4915	0.0896	0.1043	0.1063	0.0206	0.0545	0.0226
15 妻：1 6 仕事や家事がうまくいっていない	0.4770	0.1407	0.3583	0.0419	0.0914	0.0778	0.0197
15 妻：1 4 眠れないようだ	0.4626	0.0750	0.0433	0.1733	0.0905	0.0618	0.0185
15 妻：2 3 疲れている	0.4019	0.1272	-0.0127	0.1645	0.0972	0.0509	0.0342
12 妻：1 1 妻は子どもをどのように扱ったらよいかわからない	0.3846	0.0937	0.3371	0.0546	0.1315	0.0742	0.0337
15 妻：1 9 居場所がない	0.3747	0.1495	0.2514	0.0189	0.0016	0.1520	0.0907
15 妻：2 1 出産後、気持ちが沈み、おっくうで何もする気がなかった	0.3731	0.0755	0.2454	0.1194	-0.0080	0.0904	-0.0310
15 妻：1 1 楽天的でくよくよ考えない	0.3515	-0.0490	0.0948	0.0255	0.0556	-0.0175	0.0102
15 妻：1 8 生き生きしている	0.3661	0.1368	0.2931	0.0858	0.0727	0.0510	0.0550
12 妻：1 6 妻は幸せな気分で過ごしている	0.3851	0.1602	0.3460	0.0312	0.1048	0.0925	0.0877
15 妻：9 おこりっぽい	0.4220	0.1360	0.2903	0.0142	0.0501	0.0755	0.0442
15 妻：1 0 イライラしている	0.5164	0.1407	0.2668	0.0354	0.0702	0.0672	0.0422
13 家族：4 家庭内に心配事がある	0.3404	0.3063	0.2551	0.0507	0.1460	0.0925	0.0757
14 自身：1 3 沈みがち	0.1606	0.7846	0.0823	0.0775	0.1264	0.0938	0.0829
14 自身：5 精神的に不調である	0.1886	0.7714	0.1275	0.0400	0.0792	0.0732	0.0374
14 自身：3 悲観的になりやすい	0.1151	0.7701	0.0778	0.0524	0.1602	0.1239	0.0400

I4 自身：2 不安や恐怖感におそわれる	0.1643	0.7522	0.0924	0.0305	0.1391	0.1020	0.0585
I4 自身：1 気が滅入る	0.2037	0.7160	0.1801	0.0918	0.1299	0.0850	0.0351
I4 自身：4 とても心配性であれこれ気に病む	0.1067	0.7150	0.0400	0.0395	0.1048	0.1584	-0.0300
I4 自身：6 何ともいえずさびしい気持ちにおそわれることがある	0.1644	0.6851	0.1192	0.0560	0.0620	0.0706	0.0733
I4 自身：7 いても立ってもいられないほど落ち着かない	0.1891	0.6297	0.0973	0.0799	0.0842	0.1612	0.0716
I4 自身：8 何事にも敏感に感じすぎてしまう	0.1165	0.6279	0.0508	0.0304	0.0226	0.1287	0.0427
I4 自身：1 2 精神的にゆとりがない	0.1654	0.5998	0.1098	0.0802	0.1880	0.0626	0.0916
I4 自身：1 5 淋しい	0.1482	0.5659	0.2378	0.0757	0.0941	0.0826	0.0800
I4 自身：1 6 仕事があまくいってない	0.1322	0.5062	0.1302	0.0556	0.1004	0.0571	0.0773
I4 自身：1 1 楽天的でくよくよ考えない	-0.0972	0.4679	0.0319	0.0055	0.1174	0.0529	0.0340
I4 自身：1 4 眠れない	0.0834	0.4677	0.1089	0.0683	0.0715	0.1121	0.0845
I4 自身：1 8 生き生きしている	0.0927	0.4441	0.1753	0.0776	0.1558	0.0392	0.1135
I4 自身：2 1 体調が不良であったり、病気がちである	0.1443	0.4261	0.0917	0.0714	0.0805	0.0086	0.0586
I4 自身：1 9 居場所がない	0.1868	0.4180	0.3073	0.0358	0.1187	0.1078	0.0457
I4 自身：2 2 疲れている	0.1874	0.3584	0.1008	0.1434	0.0520	0.0133	0.0788
I4 自身：2 0 将来の見通しは明るい	0.1209	0.3472	0.1688	0.0729	0.1656	0.0561	0.1040
I4 自身：1 7 仕事に行きたくない、やる気を失っている	0.1194	0.4782	0.1095	0.0729	0.1491	0.0931	0.0771
I4 自身：1 0 イライラしている	0.1850	0.5022	0.1347	0.0782	0.1192	0.2702	0.1239
I4 自身：9 おこりっぽい	0.1136	0.3500	0.0692	0.0287	0.1043	0.3722	0.1316
I3 家族：4 家庭内に心配事がある	0.3404	0.3063	0.2551	0.0507	0.1460	0.0925	0.0757
I2 妻：2 妻は精神的に私を支えてくれる	0.1588	0.0863	0.7766	0.0088	0.0593	0.0021	0.0495
I2 妻：1 妻は私や子どものためによくしてくれる	0.1332	0.0511	0.7355	0.0023	-0.0032	0.0219	0.0625
I2 妻：1 2 この人と結婚して幸せである	0.0957	0.0938	0.6926	-0.0250	0.0348	0.0353	0.1218
I2 妻：5 家庭内に関する事柄について妻には期待できない	0.1432	0.0773	0.6375	0.0535	0.0293	0.0464	0.0165
I2 妻：8 妻と気持ちが通じ合っている	0.1848	0.1916	0.6344	-0.0091	0.1438	0.0729	0.1040
I2 妻：3 母親としての自覚が足りない	0.1922	0.0384	0.5649	0.0263	0.0275	0.0307	0.0160
I2 妻：4 妻は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない	0.1611	0.1191	0.5626	0.0369	0.1256	0.0672	0.0671
I2 妻：7 妻は子どもとよく遊び、面倒見がよい	0.2016	0.0444	0.5457	0.0045	-0.0072	0.0829	0.1101
I2 妻：6 妻は育児のことで相談のってくれる	0.0889	0.0380	0.5380	0.0279	0.0643	0.1128	0.0997
I3 家族：9 家庭の中がしっくりいかない	0.2344	0.2364	0.5097	0.0508	0.0848	0.0793	0.0807
I1 育児：2 2 子育てのことでは妻と意見が合わない	0.2304	0.1733	0.5009	0.0500	0.1180	0.1211	0.0083
I3 家族：8 家族は私の趣味や仕事を理解し協力してくれる	0.1839	0.0475	0.4995	0.0461	0.0781	-0.0192	0.0912
I3 家族：5 家族の中で私だけがつらい思いをしている	0.1027	0.2333	0.4546	0.0422	0.0501	0.0837	0.0692
I3 家族：1 家族としてのまとまりを感じる	0.1944	0.1889	0.4532	0.0472	0.1575	0.1028	0.1141

I2妻：18たいいのことでは妻と考え方が合う	0.1490	0.0974	0.4241	0.0299	0.0896	0.0872	0.0701
I3家族：2何かと家庭内にもめごとが起こる	0.3173	0.1797	0.3885	0.0379	0.0978	0.1761	0.1033
I2妻：16妻は幸せな気分で過ごしている	0.3851	0.1602	0.3460	0.0312	0.1048	0.0925	0.0877
I3家族：3家庭には私の居場所がない	0.1274	0.2526	0.4250	0.0157	0.1526	0.0747	0.0540
I6乳児：8夜泣きがひどい(ひどかった)	0.0485	0.0640	0.0272	0.7825	0.0226	0.0569	0.0208
I6乳児：5一晩に何回も起される(起こされた)	0.0439	0.0474	0.0032	0.7391	0.0307	0.0193	0.0077
I6乳児：4抱っこや外に連れ出すなどねむるまで手がかかる	0.0977	0.0912	-0.0056	0.7335	0.0717	0.0103	0.0329
I6乳児：1よく泣いてなだめにくい(なだめにくかった)	0.0909	0.0890	0.0350	0.7265	0.1121	0.0779	0.0307
I6乳児：2わけもわからず泣く(泣いた)	0.0980	0.0972	0.0387	0.6819	0.0992	0.1127	0.0051
I6乳児：3あまり眠らない(眠らなかつた)	0.0949	0.0753	0.0116	0.6819	0.0507	0.0353	0.0434
I6乳児：6おとなしく手がかからない(かからなかつた)	0.0249	0.0120	0.0538	0.5940	0.0304	0.0159	0.0372
I6乳児：7一日の生活リズムが一定しない(一定しなかつた)	0.1421	0.1151	0.0901	0.5127	0.0923	0.0597	0.0177
I1育児：2子どものことでどうしたらよいかわからない	0.1223	0.2586	0.1087	0.1221	0.7705	0.1908	0.0540
I1育児：1育児に自信が持てない	0.0894	0.2306	0.1194	0.0889	0.7621	0.1790	0.0748
I1育児：4どのようにしつたらよいかわからない	0.1305	0.1958	0.1177	0.1086	0.6514	0.1804	0.0242
I1育児：6子育てに困難を感じる	0.1750	0.2110	0.1610	0.1459	0.5198	0.2505	0.0272
I1育児：5父親として不適格と感じる	0.1092	0.2613	0.1705	0.0228	0.5050	0.2630	0.0632
I1育児：8育児についていろいろ心配ことがある	0.1775	0.2459	0.0008	0.1386	0.4350	0.1939	-0.0099
I1育児：7子どもをうまく育てている	0.1159	0.1654	0.1711	0.0325	0.3786	0.1810	0.0422
I1育児：14とめどなく叱ってしまう	0.0584	0.1387	0.0890	0.0303	0.0768	0.7101	0.0129
I1育児：13子どもは何で叱られているか分からないのに叱ってしまう	0.0881	0.1581	0.0555	0.0733	0.1856	0.5825	0.0501
I1育児：12子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む	0.0702	0.1899	0.0261	0.0650	0.1772	0.5551	0.0099
I1育児：15子どものことを許せない	0.0542	0.1086	0.1785	0.0441	0.1232	0.5186	0.0287
I1育児：10子どもを虐待しているのではないかと思う	0.0903	0.1515	0.1095	0.0314	0.2061	0.5020	0.0222
I1育児：9子どものことがわずらわしくてイライラする	0.1047	0.1494	0.1570	0.1275	0.3343	0.4445	0.0649
I3家族：13自分の親には大事に、大切に育てられたと思う	0.0339	0.0600	0.1427	0.0400	0.0218	0.0646	0.7997
I3家族：15子どもの頃、幸せに過ごしてきた	0.0406	0.1544	0.1723	0.0340	0.0333	0.0214	0.7251
I3家族：12自分の母親との関係は良好である(だった)	0.0899	0.0997	0.1235	0.0333	0.0346	0.0471	0.6461
I3家族：11自分の父親との関係は良好である(だった)	0.0513	0.1015	0.1147	0.0109	0.0601	0.0413	0.6285
I3家族：14子そだてするにあたって自分の親をモデルにしたいと思う	0.0141	0.0536	0.0492	0.0470	0.0183	-0.0127	0.5775

表 15 第 2 回の因子分析 分散の割合

因子	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和			回転後の負荷量平方和		
	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %
1	22.59710386	24.03947219	24.03947219	22.04432838	23.45141317	23.45141317	9.548853197	10.1581417	10.1581417
2	6.080512837	6.468630678	30.50810287	5.578942343	5.935045046	29.38645821	9.025787383	9.601901471	19.76004317
3	4.451727932	4.735880778	35.24398365	3.945324865	4.187154112	33.58361233	7.584030529	8.068117584	27.82816075
4	3.894817227	4.143422582	39.38740623	3.570959922	3.798893534	37.38250586	4.163431776	4.429182741	32.25734349
5	2.983719327	3.174169436	42.56157573	2.424826432	2.579389885	39.96189575	3.359098187	3.573508709	35.8308522
6	2.552165201	2.715089363	45.27664509	1.969819076	2.095339443	42.05723519	2.874311412	3.057778098	38.8886303
7	2.104751601	2.239097448	47.51574254	1.417141179	1.507596999	43.56483219	2.660906275	2.830751356	41.71938166

表 16 因子間相関行列

	第 1 因子	第 2 因子	第 3 因子	第 4 因子	第 5 因子	第 6 因子	第 7 因子	合計点
第 1 因子 2 回目「妻の不安・抑うつ状態」(25 項目) 同一	1.000	0.530	0.632	0.233	0.414	0.328	0.202	0.829
第 2 因子 2 回目「父親の不安・抑うつ状態」(23 項目) + 1 項目	0.530	1.000	0.512	0.245	0.540	0.449	0.270	0.831
第 3 因子 2 回目「妻・母親・家庭機能の問題」(19 項目) ± 2 同一	0.632	0.512	1.000	0.151	0.414	0.346	0.305	0.779
第 4 因子 2 回目「Difficult Baby」(8 項目) 同一	0.233	0.245	0.151	1.000	0.267	0.211	0.112	0.418
第 5 因子 2 回目「育児困難タイプ I」(7 項目) 同一	0.414	0.540	0.414	0.267	1.000	0.560	0.185	0.675
第 6 因子 2 回目「育児困難タイプ II」(6 項目) - 1 項目	0.328	0.449	0.346	0.211	0.560	1.000	0.163	0.549
第 7 因子 2 回目「自分自身の親子関係」(5 項目) 同一	0.202	0.270	0.305	0.112	0.185	0.163	1.000	0.376
2 回目の第 1 因子から第 7 因子までの合計点(全 93 項目) ± 3 同一	0.829	0.831	0.779	0.418	0.675	0.549	0.376	1.000

付録

## 育児に関するアンケートのお願い<父親乳幼児版>

子どもたちが自分の力で心身共にすこやかに育つにはどのようなことが大切なのかを見いだすためにこのアンケートを作りました。最終的にお父さんの育児を援助することが目的です。

なお、ご回答いただいた結果は、無記名方式ですべて統計処理されますので、個人のお名前が表に出ることはありません。また、ここで得られた調査結果は上述のようにお父さんへの支援・援助のためにのみ使われ、他の目的に使われることはありません。なお、ご回答をいただいた場合は、本調査の趣旨にご同意されたものとさせていただきます。

<ご回答いただく際、次の点にご留意ください>

1. ご夫婦で相談することなくご回答ください。
2. 回答したアンケート用紙は、封筒に入れ密封してください。
3. 更に密封された母親版アンケート封筒と共にひとつの封筒に入れ密封し、ご提出ください。

およそ10分程度で終わりますので、どうか、よろしくご協力ください。

<回答の仕方>

以下の質問項目には原則として、「はい」「ややはい」「ややいいえ」「いいえ」のいずれか、お考えに近いものを一つだけ選んで「\*」に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあると思いますができるだけいずれかにお答えください。お子さんが二人以上いる場合は、7歳未満のお子さんについてご回答ください。

(社福) 恩賜財団母子愛育会

日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

所長 川井 尚

〒106-8580 東京都港区南麻布5の6の8

TEL&FAX 03 (3473) 8346

kawai@aiiku.or.jp

### 1. 育児の印象について

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 育児に自信が持てない	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
2. 子どものことでどうしたらよいかわからない	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
3. 子どものことは理解できている	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
4. どのようにしついたらよいかわからない	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
5. 父親として不適格と感じる	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
6. 子育てに困難を感じる	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
7. 子どもをうまく育てている	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
8. 育児についていろいろ心配なことがある	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
9. 子どものことがわずらわしくてイライラする	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
10. 子どもを虐待しているのではないかと思う	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
11. 子どもがかわいいと思えないことがある	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
12. 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
13. 子どもは何で叱られているのかわからないのに叱ってしまう	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
14. とめどなく叱ってしまう	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*
15. 子どものことを許せない	*-----*	*-----*	*-----*	*-----*

- 16. よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす \*-----\*-----\*-----\*
- 17. 子どもを育てることが負担である \*-----\*-----\*-----\*
- 18. 子育てに悩んだときに相談できるひとがいる \*-----\*-----\*-----\*
- 19. 子育てのことで地域等に相談できる場がある \*-----\*-----\*-----\*
- 20. 育児のことで周囲からのプレッシャーを感じる \*-----\*-----\*-----\*
  
- 21. 子育てのための地域子育て支援センターなどを積極的に  
利用している \*-----\*-----\*-----\*
- 22. 子育てのことで妻と意見が合わない \*-----\*-----\*-----\*

2. 妻について

- |                             | はい | ややはい  | ややいい | いいえ    |
|-----------------------------|----|-------|------|--------|
| 1. 妻は私や子どものためにとてもよくしてくれる    | *  | ----- | *    | -----* |
| 2. 妻は精神的に私を支えてくれている         | *  | ----- | *    | -----* |
| 3. 妻は母親としての自覚が足りない          | *  | ----- | *    | -----* |
| 4. 妻は子育ての大変さなど私の苦労をわかっていない  | *  | ----- | *    | -----* |
| 5. 家庭内に関する事柄について妻には期待できない   | *  | ----- | *    | -----* |
| 6. 妻は育児のことで相談にのってくれる        | *  | ----- | *    | -----* |
| 7. 妻は子どもとよく遊び、面倒見がよい        | *  | ----- | *    | -----* |
| 8. 妻と気持ちが通じ合っている            | *  | ----- | *    | -----* |
| 9. 妻は子どもに関心がない              | *  | ----- | *    | -----* |
| 10. 妻は仕事や趣味だけに打ち込んでいる       | *  | ----- | *    | -----* |
| 11. 妻は子どもをどのように扱ったらよいかわからない | *  | ----- | *    | -----* |
| 12. この人と結婚して幸せである           | *  | ----- | *    | -----* |
| 13. 妻と話し合う時間が少ない            | *  | ----- | *    | -----* |
| 14. 子どもは妻になついていない           | *  | ----- | *    | -----* |
| 15. 妻は家事や育児に消極的である          | *  | ----- | *    | -----* |
| 16. 妻は幸せな気分で過ごしている          | *  | ----- | *    | -----* |
| 17. 妻はほとんど家にいない             | *  | ----- | *    | -----* |
| 18. たいていのことでは妻と考え方が合う       | *  | ----- | *    | -----* |

3. ご家族について

- |                              | はい | ややはい  | ややいい | いいえ    |
|------------------------------|----|-------|------|--------|
| 1. 家族としてのまとまりを感じる            | *  | ----- | *    | -----* |
| 2. 何かと、家庭内にもめごとが起こる          | *  | ----- | *    | -----* |
| 3. 家庭には私の居場所がない              | *  | ----- | *    | -----* |
| 4. 家庭内に心配事がある                | *  | ----- | *    | -----* |
| 5. 家族の中で私だけがつらい思いをしている       | *  | ----- | *    | -----* |
| 6. 祖父母などの家族に干渉される            | *  | ----- | *    | -----* |
| 7. 家族は子育ての大変さを理解してくれない       | *  | ----- | *    | -----* |
| 8. 家族は私の趣味や仕事を理解し、協力してくれる    | *  | ----- | *    | -----* |
| 9. 家庭の中がしっくりいかない             | *  | ----- | *    | -----* |
| 10. 妊娠中、家族などの理解が得られなくて大変だった  | *  | ----- | *    | -----* |
| 11. 自分の父親との関係は良好である (良好であった) | *  | ----- | *    | -----* |
| 12. 自分の母親との関係は良好である (良好であった) | *  | ----- | *    | -----* |

- |                              |         |         |         |
|------------------------------|---------|---------|---------|
| 13. 自分の親には大事に、大切に育てられたと思う    | *-----* | *-----* | *-----* |
| 14. 子育てをするにあたって自分の親をモデルにしている | *-----* | *-----* | *-----* |
| 15. 子どものころ、幸せに過ごしてきた         | *-----* | *-----* | *-----* |

4. ご自身について

- |                            | はい      | ややはい    | ややいい    | いいえ     |
|----------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 気が滅入る                   | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 2. 不安や恐怖感におそわれる            | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 3. 悲観的になりやすい               | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 4. とても心配性であれこれ気に病む         | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 5. 精神的に不調である               | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 6. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがある | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 7. いてもたってもいられないほど落ち着かない    | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 8. 何事にも敏感に感じすぎてしまう         | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 9. おこりっぽい                  | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 10. イライラしている               | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 11. 楽天的でくよくよ考えない           | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 12. 精神的にゆとりがない             | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 13. 沈みがち                   | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 14. 眠れない                   | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 15. 淋しい                    | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 16. 仕事がうまくいっていない           | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 17. 仕事に行きたくない、やる気を失っている    | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 18. 生きいきしている               | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 19. 居場所がない                 | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 20. 将来の見通しは明るい             | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 21. 体調が不良であったり、病気がちである     | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 22. 疲れている                  | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 23. 男として誇りを持って生きている        | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 24. 男として家族を守り支えとなっている      | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 25. 男として妻や子どもを幸せにしたいと思っている | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 26. 男として責任感がつよい            | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 27. 男として足りない点が多い           | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 28. 男としてもうひとつしっかりしていないと思う  | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |

5. あなたからみた妻のようすについて

- |                               | はい      | ややはい    | ややいい    | いいえ     |
|-------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 気が滅入っている                   | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 2. 不安や恐怖感におそわれている             | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 3. 悲観的になりやすい                  | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 4. とても心配性であれこれ気に病んでいる         | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 5. 精神的に不調である                  | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 6. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがあるようだ | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |
| 7. いてもたってもいられないほど落ち着かない       | *-----* | *-----* | *-----* | *-----* |

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 8. 何事にも敏感に感じすぎてしまう                            | *-----*-----*-----* |
| 9. おこりっぽい                                     | *-----*-----*-----* |
| 10. イライラしている                                  | *-----*-----*-----* |
| 11. 楽天的でくよくよ考えない                              | *-----*-----*-----* |
| 12. 精神的にゆとりがない                                | *-----*-----*-----* |
| 13. 沈みがち                                      | *-----*-----*-----* |
| 14. 眠れないようだ                                   | *-----*-----*-----* |
| 15. 淋しそう                                      | *-----*-----*-----* |
| 16. 仕事や家事がうまくいっていない                           | *-----*-----*-----* |
| 17. 仕事に行きたくない, 仕事や家事のやる気を失っている                | *-----*-----*-----* |
| 18. 生きいきしている                                  | *-----*-----*-----* |
| 19. 居場所がない                                    | *-----*-----*-----* |
| 20. 将来の見通しは明るい                                | *-----*-----*-----* |
| 21. 出産後, 気持ちが沈み, おっくうで何もする気がしなかった<br>(する気がない) | *-----*-----*-----* |
| 22. 体調の不良を訴えたり, 病気がちである                       | *-----*-----*-----* |
| 23. 疲れている                                     | *-----*-----*-----* |
| 24. 妻が落ち込んだときに話し相手になり, 話をよく聴く                 | *-----*-----*-----* |
| 25. 妻が子育てに悩んでいるときは精神的に支えるようにしている              | *-----*-----*-----* |

6. お子さんが赤ちゃんのとき (生まれてから半年ぐらいまで。ただし, お子さんが複数いる場合は, 下の年齢のお子さんについて回答してください。)

はい      ややはい      ややいいえ      いいえ

- |  |                     |
|--|---------------------|
| 1. よく泣いてなだめにくい (なだめにくかった)              | *-----*-----*-----* |
| 2. わけもわからず泣く (泣いた)                     | *-----*-----*-----* |
| 3. あまり眠らない (眠らなかった)                    | *-----*-----*-----* |
| 4. 抱っこや外に連れ出すなどねむるまでに手がかかる<br>(手がかかった) | *-----*-----*-----* |
| 5. 一晩に何回も起こされる (起こされた)                 | *-----*-----*-----* |
| 6. おとなしく手がかからない (手がかからなかった)            | *-----*-----*-----* |
| 7. 一日の生活リズムが一定しない (一定しなかった)            | *-----*-----*-----* |
| 8. 夜泣きがひどい (ひどかった)                     | *-----*-----*-----* |

7. お子さんについて (注: 現在のお子さんの年齢に応じて回答してください。お子さんが二人いて A児が0歳児, B児が3歳児ならば, 0歳児と3歳児の両方に答えてください。0歳児, 1歳児, 2歳児がいればそれぞれについて答えてください。ただし, 3~6歳の年齢のお子さんが複数いる場合は, 最年少のお子さんについて回答してください。)

- |                              |                                  |
|------------------------------|----------------------------------|
| 0歳児 (a)                      | はい      ややはい      ややいいえ      いいえ |
| 1 a. いつも元気である                | *-----*-----*-----*              |
| 2 a. 心配になる行動がある              | *-----*-----*-----*              |
| 3 a. 指しゃぶりがあがる               | *-----*-----*-----*              |
| 4 a. ミルク飲みが悪かったり, 離乳食をいやがるなど | *-----*-----*-----*              |
| 5 a. 夜泣きがある                  | *-----*-----*-----*              |
| 6 a. おびえたり, ひどくこわがる          | *-----*-----*-----*              |
| 7 a. 活発で生きいきしている             | *-----*-----*-----*              |

- 8 a. 機嫌が変わりやすい \*-----\*-----\*-----\*
- 9 a. 慢性的な病気がある \*-----\*-----\*-----\*
- 10 a. 発達の全般的な遅れがある \*-----\*-----\*-----\*
  
- 11 a. ひとみしりが強い \*-----\*-----\*-----\*
- 12 a. かんしゃくをよく起こす \*-----\*-----\*-----\*

1歳児 (b)

はい ややはい ややいいえ いいえ

- 1 b. いつも元気で明るい \*-----\*-----\*-----\*
- 2 b. 心配になる行動やくせがある \*-----\*-----\*-----\*
- 3 b. 指しゃぶりや爪かみがある \*-----\*-----\*-----\*
- 4 b. 偏食・小食・乳離れしないなどの食事の問題がある \*-----\*-----\*-----\*
- 5 b. 夜泣きがある \*-----\*-----\*-----\*
  
- 6 b. おびえたり、ひどくこわがる \*-----\*-----\*-----\*
- 7 b. とても落ち着きがない \*-----\*-----\*-----\*
- 8 b. 活発で生きいきしている \*-----\*-----\*-----\*
- 9 b. おこりっぽい \*-----\*-----\*-----\*
- 10 b. 機嫌が変わりやすい \*-----\*-----\*-----\*
  
- 11 b. 慢性的な病気がある \*-----\*-----\*-----\*
- 12 b. 発達の全般的な遅れがある \*-----\*-----\*-----\*
- 13 b. ひとみしりが強い \*-----\*-----\*-----\*
- 14 b. かんしゃくをよく起こす \*-----\*-----\*-----\*
- 15 b. 乱暴 \*-----\*-----\*-----\*
  
- 16 b. ことばの発達が遅れている \*-----\*-----\*-----\*

2歳児 (c)

はい ややはい ややいいえ いいえ

- 1 c. いつも元気で明るい \*-----\*-----\*-----\*
- 2 c. 心配になる行動やくせがある \*-----\*-----\*-----\*
- 3 c. 指しゃぶりや爪かみがある \*-----\*-----\*-----\*
- 4 c. 偏食・小食・過食などの食事の問題がある \*-----\*-----\*-----\*
- 5 c. 夜泣きがある \*-----\*-----\*-----\*
  
- 6 c. おびえたり、ひどくこわがる \*-----\*-----\*-----\*
- 7 c. とても落ち着きがない \*-----\*-----\*-----\*
- 8 c. 活発で生きいきしている \*-----\*-----\*-----\*
- 9 c. おこりっぽい \*-----\*-----\*-----\*
- 10 c. 機嫌が変わりやすい \*-----\*-----\*-----\*
  
- 11 c. 慢性的な病気がある \*-----\*-----\*-----\*
- 12 c. 発達の全般的な遅れがある \*-----\*-----\*-----\*
- 13 c. ひとみしりが強い \*-----\*-----\*-----\*
- 14 c. かんしゃくをよく起こす \*-----\*-----\*-----\*
- 15 c. 目をパチパチさせるくせがある \*-----\*-----\*-----\*
  
- 16 c. どもるくせがある \*-----\*-----\*-----\*
- 17 c. 子どもとうまく遊べない \*-----\*-----\*-----\*
- 18 c. 子どもの中に入れない \*-----\*-----\*-----\*

- 19 c. 乱暴 \*-----\*-----\*-----\*
- 20 c. ことばの発達が遅れている \*-----\*-----\*-----\*
- 21 c. 外では話をしない \*-----\*-----\*-----\*

3～6 歳児 (d)

はい      ややはい      ややいいえ      いいえ

- 1 d. いつも元気で明るい \*-----\*-----\*-----\*
- 2 d. 心配になる行動やくせがある \*-----\*-----\*-----\*
- 3 d. 指しゃぶりや爪かみがある \*-----\*-----\*-----\*
- 4 d. 偏食・小食・過食などの食事の問題がある \*-----\*-----\*-----\*
- 5 d. 夜泣きがある \*-----\*-----\*-----\*
- 6 d. おびえたり、ひどくこわがる \*-----\*-----\*-----\*
- 7 d. とても落ち着きがない \*-----\*-----\*-----\*
- 8 d. 活発で生きいきしている \*-----\*-----\*-----\*
- 9 d. おこりっぽい \*-----\*-----\*-----\*
- 10 d. 機嫌が変わりやすい \*-----\*-----\*-----\*
- 11 d. 保育園や幼稚園に行くのをいやがる \*-----\*-----\*-----\*
- 12 d. 慢性的な病気がある \*-----\*-----\*-----\*
- 13 d. 発達の全般的な遅れがある \*-----\*-----\*-----\*
- 14 d. ひとみしりが強い \*-----\*-----\*-----\*
- 15 d. かんしゃくをよく起こす \*-----\*-----\*-----\*
- 16 d. 目をパチパチさせるくせがある \*-----\*-----\*-----\*
- 17 d. どもるくせがある \*-----\*-----\*-----\*
- 18 d. 遊ぶ友だちがいない \*-----\*-----\*-----\*
- 19 d. 友だちとうまく遊べない \*-----\*-----\*-----\*
- 20 d. 子どもの中に入れない \*-----\*-----\*-----\*
- 21 d. 乱暴 \*-----\*-----\*-----\*
- 22 d. おしっこ・うんちの始末ができない \*-----\*-----\*-----\*
- 23 d. ことばの発達が遅れている \*-----\*-----\*-----\*
- 24 d. 発音がはっきりしない \*-----\*-----\*-----\*
- 25 d. 外では話をしない \*-----\*-----\*-----\*

8. 最後に、子育てや家庭のことなど、父親として、男として、夫として日頃、思うこと、感じること、悩むことなどがあればご自由にお書きください。

[補足質問]

1. あなたの年齢 \_\_\_\_\_ 歳
2. 奥様の年齢 \_\_\_\_\_ 歳
3. お子さんは \_\_\_\_\_ 人  
 内訳 第1子 ( \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月) (男・女) 第2子 ( \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月) (男・女)  
 第3子 ( \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月) (男・女) 第4子 ( \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月) (男・女)  
 第5子 ( \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月) (男・女) 第6子 ( \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月) (男・女)
4. 同居しているのは  
 1. 妻 2. 自分が単身赴任中 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 妻の父親 6. 妻の母親  
 7. その他 ( \_\_\_\_\_ )
5. お子さんの昼間の主な養育者は (一つだけ○をつけてください)  
 1. 母親 2. 保育所<幼稚園は1に○> 3. 祖父母 4. その他 ( \_\_\_\_\_ )
6. あなたのお仕事は (一つだけ○をつけてください)  
 1. フルタイム (常勤) 2. 自営 3. パート・アルバイト 4. 主夫 5. 休職中  
 6. その他 ( \_\_\_\_\_ )
7. これまでの奥様の妊娠, 出産の状態について  
 1. 妊娠中の異常があった ( 1. なし 2. あった)  
 2. 妊娠週数が37週より早く産まれた子がいた ( 1. いなかった 2. いた ( \_\_\_\_\_ ) 週)  
 3. 分娩中の異常があった ( 1. なかった 2. あった)  
 4. 産褥期の異常があった ( 1. なかった 2. あった)  
 5. 出生体重が2500g以下のお子さんがいた ( 1. いなかった 2. いた ( \_\_\_\_\_ ) g)  
 6. 新生児期の異常があったお子さんがいた ( 1. いなかった 2. いた)  
 7. 生後1ヶ月以降の異常があったお子さんがいた ( 1. いなかった 2. いた)